

文教・警察常任委員会資料  
平成27年(2015年)3月6日(金)  
教育委員会事務局学校教育課

# 学ぶ力向上 滋賀プラン(案)

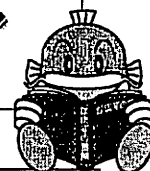
夢と生きる力を育てる

平成27年(2015年)3月

滋賀県教育委員会

## 教育メッセージ

# ～子どもたちの「学ぶ力」を育てましょう～



### 1. 子どもたちへ

みなさんに一番がんばってほしいことは、自分の可能性を信じて、挑戦する心をもつことです。「なぜ」「どうして」と考えたり、いろいろな人の意見を聞き、自分の考えを伝えたりすること、難しいことでもあきらめずにねばり強く最後まで挑戦することなど、いろいろなことに積極的に取り組みましょう。

### 2. 保護者のみなさんへ

子どもたちが自分に自信をもち、困難に立ち向かう力を身に付けるために、家庭で過ごす時間が大切です。規則正しい生活習慣を身に付け、人としての生き方を教え、物事を最後までやり遂げられるよう、子どもの話をじっくり聞き、子どもたちと一緒に遊んだり、調べたり、読書をしたりしましょう。

### 3. 学校の先生へ

子どもたちに、その学年で身に付けておかなければならない力をしっかりと付けさせることが大切です。そのことで、わかるよろこびを味わわせ、また、ほめることで、やる気を育てることも大切です。子ども同士が考えを交流し、高め合えるような授業改善に努め、お互いが切磋琢磨する学校を作りましょう。

### 4. 地域のみなさんへ

子どもたちが安心して育つ環境づくりが必要です。滋賀の子どもたちは、地域社会の中で、語りやふれあいを通して多くのことを学んでいます。地域とのつながりを大切にし、自ら何事にも挑戦し、やり抜くことのできる子どもを、学校・園、家庭・地域が一体となって育てていきましょう。

# 目 次

はじめに	1
1 学ぶ力向上 滋賀プラン	2
2 学ぶ力を育むための6つの視点についての指標	3
学ぶ力を育むための6つの視点についての経年変化（抜粋）	5
3 本県の現状と課題	7
4 「学ぶ力」を育む6つの滋賀プラン	9
5 プランの進行計画	12
6 学習状況の改善のPDCAサイクルの確立	13
資料編	
資料1 学ぶ力を育むための6つの視点についての経年変化	15
資料2 学ぶ力を育む6つの視点を基にした児童生徒質問紙の分析	19
資料3 教科の平均正答率とのクロス集計	25
資料4 学ぶ力向上のための指導実践目標	31
おわりに	32

## はじめに

滋賀県では、「未来を拓く心豊かでたくましいひとづくり～学び合い支え合う『共に育つ』滋賀の教育～」を教育の基本目標に、平成 26 年度(2014 年度)から 30 年度(2018 年度)までの県全体の教育の振興に関する施策を総合的かつ計画的に進めるため「第 2 期滋賀県教育振興基本計画」を策定したところです。

そうした中であって、全国学力・学習状況調査の結果をみると、本県の児童生徒の学力や学習の状況は、教科の調査において、小学校、中学校ともに、基礎・基本を身に付けさせることや問題を読む力や書く力などの言語力の育成が課題として浮かびあがってきました。

また、学習状況調査からは、学習の基本となる学びの姿勢や態度が十分に身に付いていないこと、全国学力・学習状況調査の調査結果を十分に分析し、児童生徒のつまずきの原因や学習状況の改善すべき点を教職員が理解し、共有してこなかったことなども課題であることがわかりました。特に、児童生徒質問紙の教科に関する設問の回答結果では、学習意欲や学習への関わりに関する項目の多くで全国の平均値を下回っており、児童生徒の学習意欲を高めていくことが急務です。

これらの課題を解決するには、全ての子どもの能力を最大限に引き出し、充実感や達成感の中で人生そのものが豊かになるよう育む必要があります。子どもたちが互いに尊重し、力を合わせ、ともに教え合う中で、また、社会や自然の中で学ぶことで、真に生きた力を育むようにしなければなりません。そのためには、就学前からの子どもの育ちを支える環境をつくとともに、「学ぶ力」を育成することが大切です。

そこで、特に本県における就学前から中学校までの、子どもたちの学ぶ力の向上に向けた目標と施策の方向性を示す 4 年間の中長期計画を策定することとし、その中で、一人ひとりの子どもに、学ぶ力をつけるための視点として、「一人ひとりの学ぶ力を高める」「生活の中で学ぶ力をつける」「繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す」「放課後や家での時間の使い方を考える」「県全体で子どもの力を伸ばす」「授業を改善する」を設定し、これをもとにした 6 つのプランにより、子どもたちの夢と生きる力を育てることを目指します。

子どもたち一人ひとりの学ぶ力を高め、仲間と周囲とのつながりを大切にし、自ら進んで学び、自分の将来を真剣に考えることのできる子ども、互いの良さを認め尊重し、自ら進んで挑戦し、やり抜くことのできる子どもを育てる「夢と生きる力を育てる教育」を県全体で推進するため「学ぶ力向上 滋賀プラン」を策定します。

# 1 学ぶ力向上 滋賀プラン

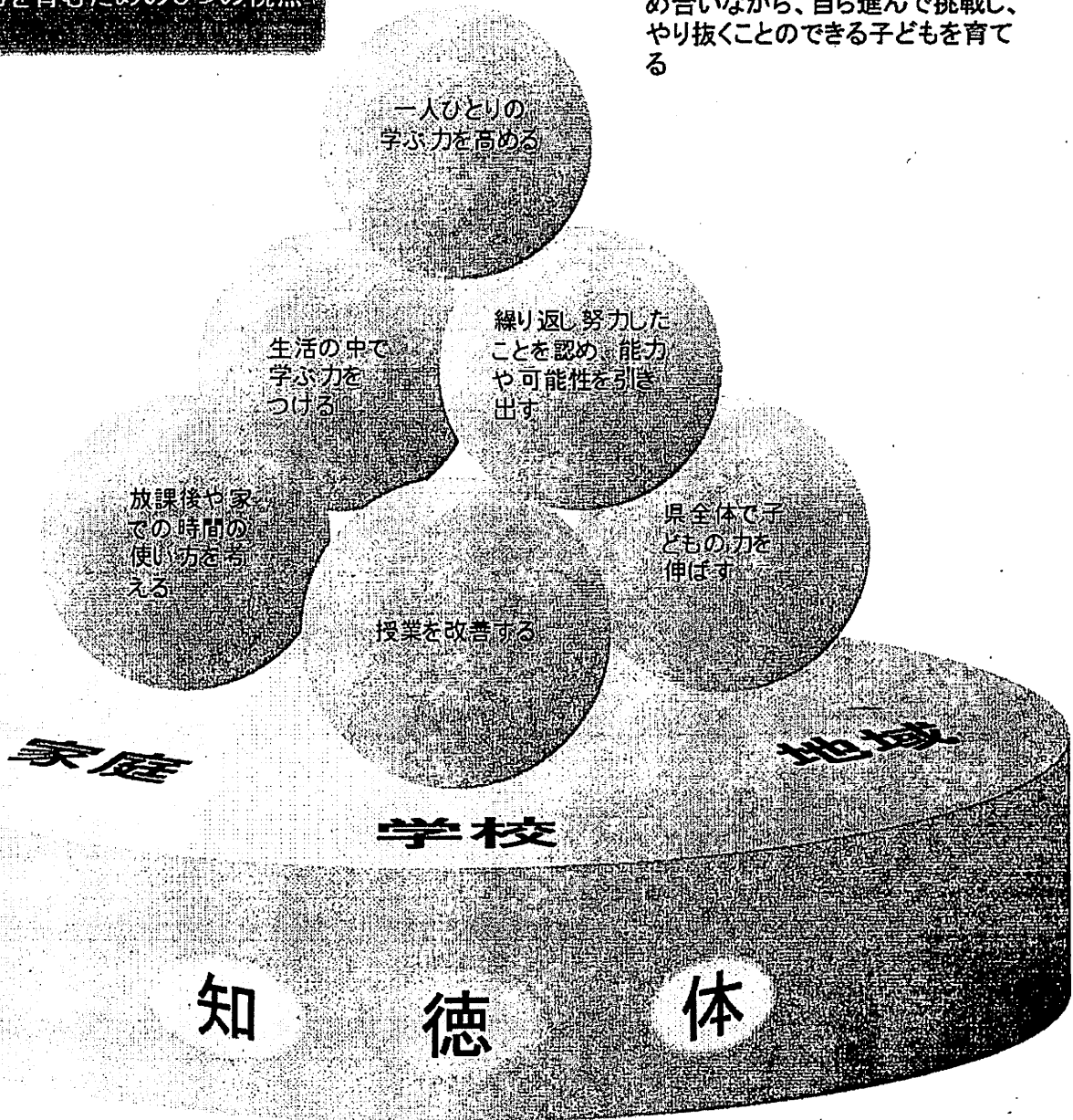
## 夢と生きる力を育てる



仲間と周囲とのつながりを大切に、自ら進んで学び、自分の将来を真剣に考えることのできる子どもを育てる

### 学ぶ力を育むための6つの視点

互いの良さを認め尊重し、ほめることで自尊感情を高め、互いに認め合いながら、自ら進んで挑戦し、やり抜くことのできる子どもを育てる



## 2 学ぶ力を育むための6つの視点についての指標

滋賀県の学力向上については、夢と生きる力を育てる重要な要素である「学ぶ力」を育成することを目標とします。そのため、学力・学習状況等の改善について、PDCA サイクルを回しながら実際に動かし、検証を重ねながら学ぶ力を向上する取組を進めていく必要があります。

そこで、「学ぶ力を育むための6つの視点」を設定し、全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙の中から、それぞれの視点に関連すると考えられる質問項目を4項目ずつ選択し、それらの項目についての児童生徒の回答状況を数値化したものを指標とします。この指標を用いてチェックしていくことにより、PDCA サイクルを機能させます。

### □ 学ぶ力を育むための6つの視点についての質問項目

6つの視点	学習状況の児童生徒への質問項目
一人ひとりの学ぶ力を高める	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか
	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか
	将来の夢や目標を持っていますか
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
生活の中で学ぶ力をつける	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか※1
	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか
	友達との約束を守っていますか
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか
繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか
	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか※2
	算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか
放課後や家での時間の使い方を考える	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
	普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか※3
	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか
	家で、学校の授業の予習をしていますか
県全体で子どもの力を伸ばす	今住んでいる地域の行事に参加していますか
	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか
	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか
授業を改善する	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか
	授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

全国学力・学習状況調査の児童生徒への質問項目の選択肢は、多くが4択になっているので、次のように得点化しました。

「当てはまる」・・・4点、「どちらかといえば当てはまる」・・・3点、「どちらかといえば当てはまらない」・・・2点、「当てはまらない」・・・1点とし、それぞれ回答した割合とこれらの点数をかけて合計しました。

※1「読書…」については、30分以上：4点、10～30分：3点、10分未満：2点、全くしない：1点とした。

※2「400字詰め原稿用紙…」については、そう思わない：4点、どちらかといえばそう思わない：3点、どちらかといえばそう思う：2点、そう思う：1点とした。

※3「インターネット…」については、持っていない：4点、30分より少ない：3点、1時間より少ない：2点、1時間以上：1点とした。

6つの視点に関連する4項目の得点の合計を指標として、計画の進行や具体的取組について評価しPDCAサイクルの検証に供することとします。

□ 学ぶ力を育むための6つの視点についての指標および目標

小学校 県	小学校 全国	小学校 差	中学校 県	中学校 全国	中学校 差	指標	プランの目標
294.9	295.4	-0.5	276.7	280.7	-4	小学校	小学校
255.2	252.4	2.8	253.1	249.1	4	1264	H26の結果を2年で12点上回る
350.9	351.5	-0.6	298.1	306.2	-8.1	中学校	中学校
362.5	363.8	-1.3	361.2	364.5	-3.3	1189	H26の結果を2年で12点上回る
275	283.4	-8.4	235.1	249.9	-14.8	小学校	小学校
329.2	329.5	-0.3	307.8	307.9	-0.1	1248	H26の結果を2年で12点上回る
364.9	364.4	0.5	360.7	362.2	-1.5	中学校	中学校
278.6	281	-2.4	261.2	269.6	-8.4	1165	H26の結果を2年で12点上回る
364.1	364.7	-0.6	359.4	363.4	-4	小学校	小学校
300.9	310.1	-9.2	276.4	291.8	-15.4	1177	H26の結果を2年で12点上回る
203.3	214.5	-11.2	193.7	206.1	-12.4	中学校	中学校
308.7	315.4	-6.7	287.1	295.3	-8.2	1117	H26の結果を2年で12点上回る
347.1	347	0.1	343.1	346.1	-3	小学校	小学校
306.5	305.7	0.8	206.4	214.2	-7.8	1180	H26の結果を2年で12点上回る
272.3	277.2	-4.9	241.2	245.7	-4.5	中学校	中学校
234.4	239.7	-5.3	220.5	216.8	3.7	1011	H26の結果を2年で12点上回る
323.2	292.3	30.9	256.3	231.8	24.5	小学校	小学校
270.4	276.6	-6.2	255.9	259.2	-3.3	1184	H26の結果を2年で12点上回る
225.8	235.4	-9.6	208.1	212.1	-4	中学校	中学校
364.4	366.9	-2.5	367.8	371.3	-3.5	1088	H26の結果を2年で12点上回る
324.6	329.7	-5.1	308.9	313.8	-4.9	小学校	小学校
285.9	298.7	-12.8	234.8	256.3	-21.5	1291	H26の結果を2年で12点上回る
332	338	-6	312	320	-8	中学校	中学校
348.6	351.3	-2.7	289.2	298.3	-9.1	1145	H26の結果を2年で12点上回る

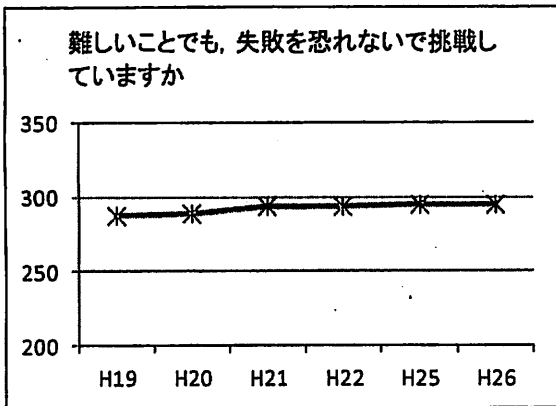
指標となる質問項目について、平成19年あるいは20年から経年変化を追うことができるものを選び、グラフにすると、次ページからようになります（「学ぶ力を育むための6つの視点についての経年変化」）。「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」などについては、年を追うごとに増加していますが、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」などについては、あまり顕著な改善が見られないことが分かります。

# 学ぶ力を育むための6つの視点についての経年変化(抜粋)

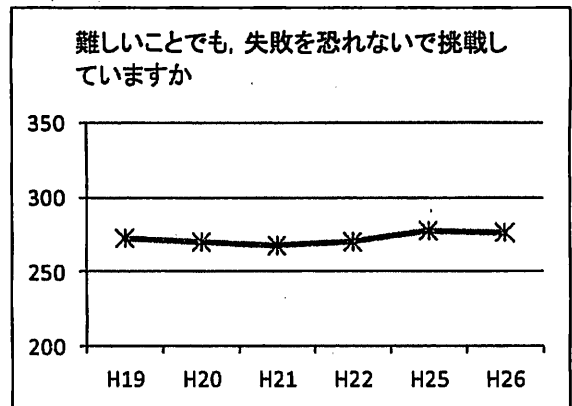
以下の指標とした全国学力・学習状況調査の児童・生徒質問紙の設問は、4択になっているので、各設問に対して、それぞれの回答を次のように得点化している。  
 「当てはまる」・・・4点、「どちらかといえば当てはまる」・・・3点、「どちらかといえば当てはまらない」・・・2点、「当てはまらない」・・・1点とし、それぞれ回答した割合とこれらの点数をかけて合計したものを縦軸にし、経年の変化をグラフで表した。

## 1 一人ひとりの学ぶ力を高める

小学校

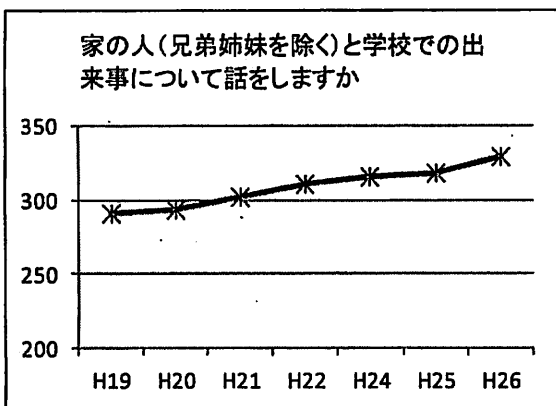


中学校

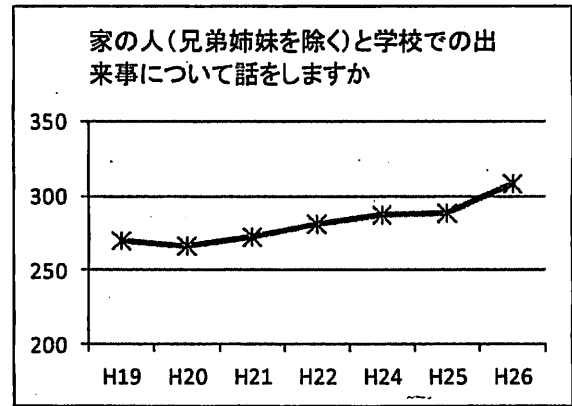


## 2 生活の中で学ぶ力をつける

小学校

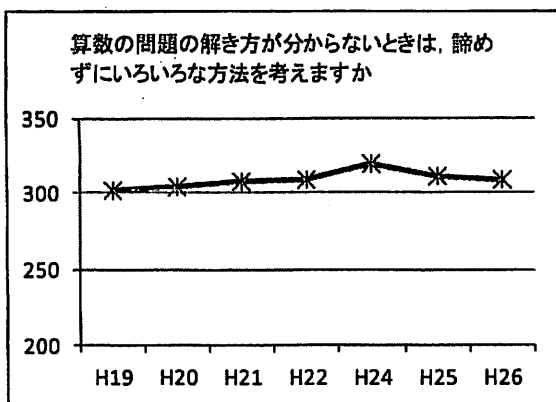


中学校

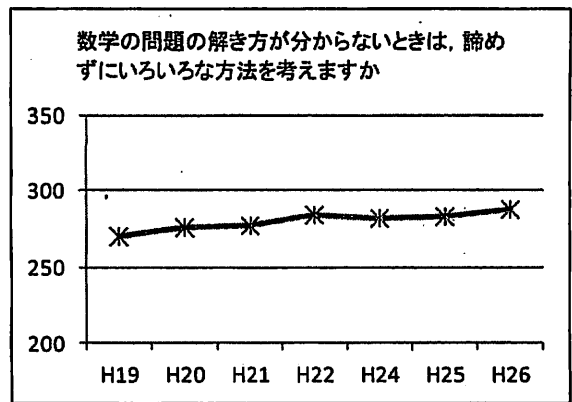


## 3 繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す

小学校

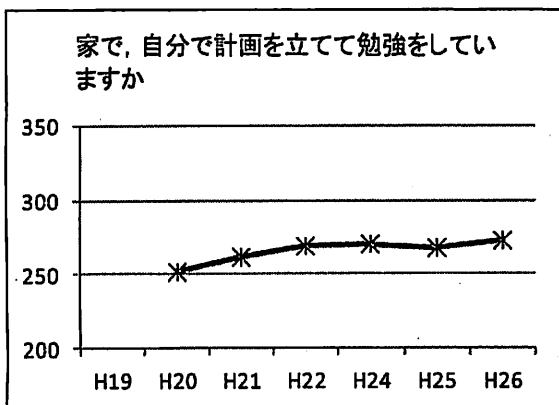


中学校

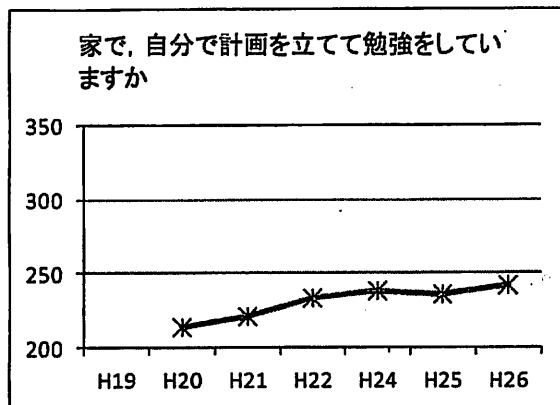




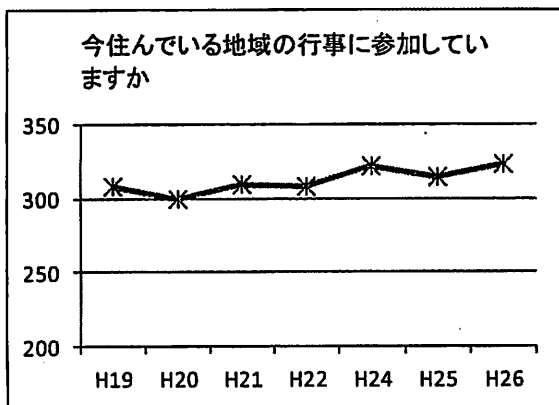
4 放課後や家での時間の使い方を考える  
小学校



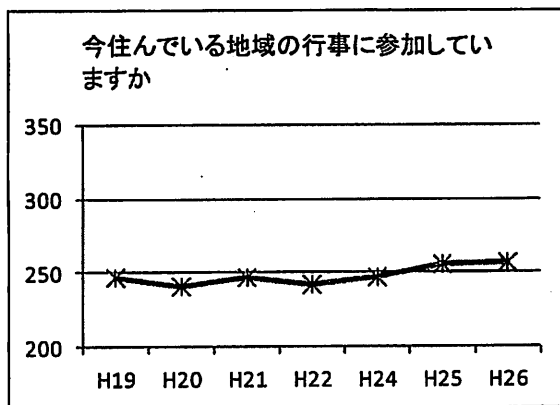
中学校



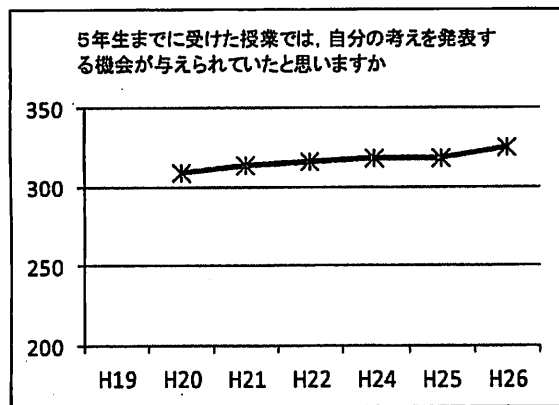
5 県全体で子どもの力を伸ばす  
小学校



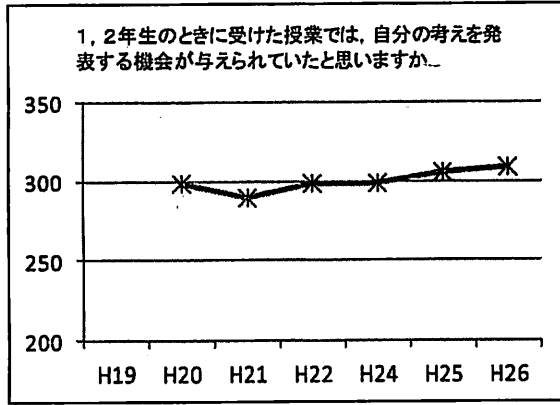
中学校



6 授業を改善する  
小学校



中学校



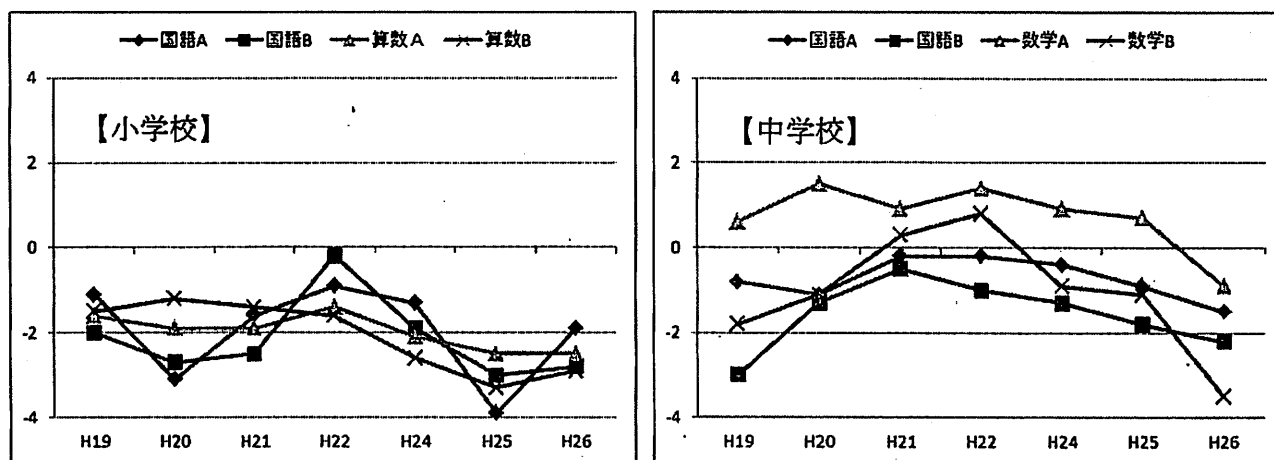
(他の項目の経年変化については、資料1：p15～を参照)

### 3 本県の現状と課題

全国学力・学習状況調査の各教科における平均正答率は、下のグラフのように変化しています。各教科の調査は、難易度が年度によって異なるため、滋賀県の平均正答率と全国平均の差をとってグラフに表しています。

グラフ1 滋賀県の平均正答率と全国平均の差の推移

※平成22年度・24年度は抽出調査のため誤差±1%程度の精度であり、参考値。  
※平成23年度は、東日本大震災により未実施。



グラフから、平成25年度に小学校の各教科で、全国との差が最も開きましたが、平成26年度には、国語A・B、算数Bで少し改善しました。思考力・判断力・表現力の育成とともに、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る指導の充実が、引き続き求められます。

中学校では、平成26年度に数学Bでの下降が著しく、また、国語は平成22年度から徐々に下がり続けていることから、学習状況と教科指導の両面から改善を図る必要があります。

これらの改善のためには、まず、授業を改善して、わかる・できる喜びを実感させ、教科の学習に関する関心・意欲を高める必要があります。また、家庭での学習習慣を始め、児童生徒の学習状況を改善し、主体的な学びの姿勢を育成する必要があります。

児童生徒質問紙の教科に関する設問の回答結果では、学習意欲や学習への関わりに関する項目の多くで全国の平均値を下回っており、児童生徒の学習意欲を高めていくことが急務です。

全ての子どもを最大限に引き出し、充実感や達成感の中で人生そのものが豊かになるよう育み、子どもたちが互いに尊重し、力を合わせ、ともに教え合う中で、また、社会や自然の中で学ぶことで、真に生きた力を育むようにしなければなりません。そのためには、これらの基礎となる「学ぶ力」を育成することが大切です。さらには、学校、家庭、地域が一体となって、子どもの育ちを支える環境をつくることも重要です。

「2 学ぶ力を育むための6つの視点についての指標」では、全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙の中から、それぞれの視点に関連している質問項目を4項目ずつ選択し、それらを指標とすることを述べましたが、平成25年度と26年度のデータをもとに、全国の状況、および昨年度の状況との比較により、本県の現状と課題について分析しました。

それぞれの視点に関連している質問項目すべてについてグラフで表すと、資料2 (p19～) のようになります。平成26年度の状況を、全国の回答結果の平均と比較して、次のように○△×で評価すると、下の表のようになります。

- ：全国よりも上回っているか同じ
- △：全国よりも2.0ポイント未満下回る
- ×：全国よりも2.0ポイント以上下回る

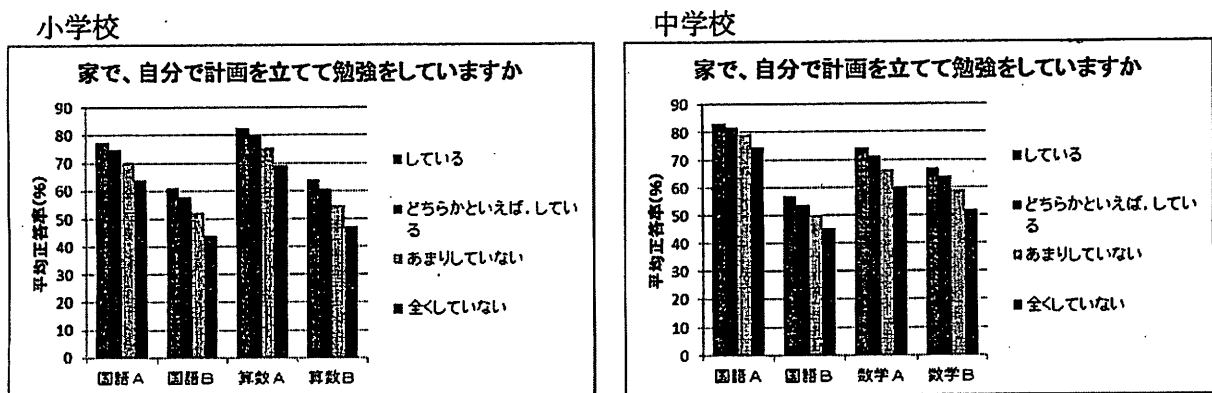
□ 学ぶ力を育むための6つの視点についての分析の評価

	小学校			中学校		
	○	△	×	○	△	×
一人ひとりの学ぶ力を高める	1	3	0	1	0	3
生活の中で学ぶ力をつける	1	1	2	0	2	2
繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す	0	1	3	0	0	4
放課後や家での時間の使い方を考える	1	2	1	1	1	2
県全体で子どもの力を伸ばす	1	0	3	1	2	1
授業を改善する	0	1	3	0	1	3

指標とした48項目のうち、全国より上回っているか同じものは7項目であり、学習の基本となる学びの姿勢や態度が十分に身に付いていないことや、児童生徒の学習意欲を高めていく必要があることが、これらのことからわかります。特に、繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出すこと、授業を改善することなどに優先的に取り組む必要性があります。

また、それぞれの項目が全国学力・学習状況調査の教科の平均正答率とどのような関係にあるかを分析しました(資料3「学ぶ力を育む6つの視点を基にした児童生徒質問紙の分析 教科の平均正答率とのクロス集計」p25～)。平成26年度調査の全国データから分析すると、指標とする多くの項目で教科の平均正答率と有意な相関関係があるものが多いことがわかります。

グラフ2 「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」と各教科の平均正答率の関係



例えば、グラフ2のように「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問項目に、肯定的に回答した子どもほど平均正答率が高いことがわかります。しかし、「将来の夢や目標を持っていますか」「学校の授業時間以外に一日当たりどれくらいの時間読書を読みますか」「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」などの相関の低い項目が、より根源的な部分から学ぶ力を支えている可能性もあり、「学ぶ力」として総合的に学力を向上させることが重要です。

## 4 学ぶ力を育む6つの滋賀プラン

学ぶ力を育むことは学校教育の重要な役割ですが、家庭や地域の関わり方によって、その育ち方は大きく変わります。子どもの良さを見つけ、子どもが互いに認め合う学校・家庭づくりを進め、子どもの学ぶ力を育むことが必要です。学ぶ力を育む6つの滋賀プランを次のように示します。

### (1) 一人ひとりの学ぶ力を高めるプラン

#### ○豊かな人間性や人間関係を築く力を培う体験活動の取組

豊かな人間性や人間関係を築く力を培うため、人と人との絆を深め、感性を養うとともに、感動、本物、仲間などが実感できる体験活動を意図的、計画的に推進します。

(うみのこ、やまのこ、たんぼのこ等)

#### ○社会人・職業人として自立していくことができる教育の取組

自立して生きていくために必要な能力や態度を育成するため、小学校での職場訪問や社会見学、中学校での「中学生チャレンジウィーク」などの取組を実施します。

(中学生チャレンジウィーク)

#### ○一人ひとりに応じて個性や能力を伸ばす取組

子どものつまずきや課題の状況を的確に把握し、習熟度に合わせた少人数による指導や複数教員による指導、放課後等を利用した補充学習などを通じて、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行い、一人ひとりに応じて個性や能力を伸ばします。

(少人数学級・少人数指導)

### (2) 生活の中で学ぶ力をつけるプラン

#### ○体験を通して学びの基礎を育む取組

小学校1・2年生に主体的に学ぶ姿勢、学び方、学習規範などを身に付けさせるために、就学前からの体験的な活動の指導のポイントをまとめた手引きを作成し、授業研究による指導の重点の共通理解を図るとともに、各学校・園での実践を通して、子どもたちに学ぶ力の基礎を身に付けさせます。

(学びの基礎体験型学習プロジェクト)

#### ○学び合う学習環境をつくる取組

子どもによる自発的、自治的な話し合い活動を進め、学級会や児童会活動・生徒会活動の活性化を図り、グループで学び合う活動や、自分の考えを伝え合う活動を取り入れた共同的な学びを推進します。

(学級活動スキルアップ事業)

#### ○自分も他の人も大切にしたい集団をつくる取組

子どもの自主的・自立的な活動の充実を図ることにより、子どもが主人公となる学校づくりを推進し、子ども自身が自己有用感や絆を感じ、心の通い合う対人関係や社会性を育みます。

(滋賀県「絆をつむぐ学校づくり」推進事業)

### (3) 繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出すプラン

#### ○繰り返し取り組み、学ぶ意欲や自信を高める取組

- ・ 小学校3年生以上で評価問題を実施し、つまずきを把握するとともに、つまずいた箇所を繰り返し学ばせることにより、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、ねばり強くやり切る姿勢を身に付けさせます。

(学年別ステップアップ事業)

#### ○放課後を活用し、個に応じた学習サポートや運動機会の充実を図る取組

子どものつまずきや課題の状況を的確に把握し、放課後等を利用した補充学習を通じて、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。また、放課後等の時間を活用することで、子どもの運動遊びの機会を充実させます。

(放課後等活用事業)

#### ○基礎的・基本的な知識・技能を定着させる取組

基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、思考力・判断力・表現力等の効果的な育成に向け、朝の10分間読書等の読書活動、ペアやグループでのコミュニケーション、説明や発表等、学習指導要領に則り、各教科等を通じた言語活動の充実を推進します。

(学ぶ力パワーアップ事業)

### (4) 放課後や家での時間の使い方を考えるプラン

#### ○個に応じたきめ細かな指導の推進を図る取組

放課後等も利用して学習の補充を行うための取組を進めるとともに、家庭と連携して、自ら進んで行う家庭学習、予習復習等の習慣化を図り、学校と家庭の連携による授業づくり、主体的な学びの充実を推進します。

(放課後等活用事業) 再掲

#### ○家庭での学習習慣や、主体的な家庭学習を確立する取組

子どもが家庭学習に取り組むよう働きかけ、最終的に主体的な学びにつなげるために、家庭学習の手引きを作成し、子どもに家庭学習を確実に習慣化させる取組を行うとともに保護者と協力して家庭学習の充実に取り組みます。

(家庭学習の充実)

#### ○人間関係の育成や生活習慣の改善につなげる取組

子どもが豊かな人間関係をつくることのできるよう、子ども一人ひとりを認め、ほめることで自尊感情を高め、自ら進んで挑戦し、やり抜くことのできる子どもを育てるとともに、生活習慣の改善・向上や食育の推進を図るため、家庭や地域と連携した取組を進めます。

(家庭向け各広報等)

## (5) 県全体で子どもの力を伸ばすプラン

### ○学校・園、家庭、地域社会が一体となり、自己実現を図れるよう支援する取組

子どもが主体的に進路を切り拓き自己実現を図れるよう、中学校区を単位に学校・園、関係機関、家庭、地域社会がつながり、人権の視点を教育活動の根幹に位置付け、自尊感情の育成を中心に、子どもの生活と学ぶ意欲を支える取組を推進します。

(自尊感情・学びの礎育成プロジェクト事業)

### ○土曜日ならではの豊かな教育環境を提供する取組

学校、家庭、地域が連携し、役割分担しながら、「土曜授業」「土曜の課外授業」「土曜学習」の機会を総合的に充実させることで、地域における多様な学習、文化やスポーツ、体験活動等の機会の充実に取り組み、子どもたちの土曜日の教育環境を充実させます。

(土曜日を活用した特色ある教育活動)

### ○体力の向上、運動機会の充実を図る取組

子どもの運動習慣の確立のため、園では、様々な遊びを中心に毎日 60 分以上楽しく体を動かします。また、学校や地域において、1日30分運動を推進します。特に、朝や業間、放課後に、毎日、全校児童が取り組む10分間運動の促進により、「子どもを運動(遊び)好きにするための取組」の一層の推進を図ります。

(体育授業力向上事業)

## (6) 授業を改善するプラン

### ○思考力・判断力・表現力を育成する取組

子どもの思考力や表現力を高めるために発問を工夫するなど授業改善を図ります。また、子どもとのやりとりを通して評価能力を高めるとともに、その学習成果を確かめる評価問題を研究・活用し、授業改善に生かせる力が付くよう指導に努めます。

(学力向上アプローチ事業)

### ○教科指導力を向上し、学力を高める取組

子どもの基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、思考力・判断力・表現力等を育成し、「確かな学力」についての明確な学力観をもち、子どもの能力を引き出すことのできる力を身に付けるための「授業力を高める研修」の充実を図ります。

(教科主任指導力向上研修)

### ○幅広い知識や授業技術等、実践的指導力を身に付ける英語教育の取組

英語等の外国語能力を育てるため、小学校における外国語活動、中・高等学校の系統的な英語教育等を進めます。高等学校では英語の授業は英語で行うことを基本とし、英語を使って言語活動をするなど、生徒が英語に触れる機会の充実を図ります。

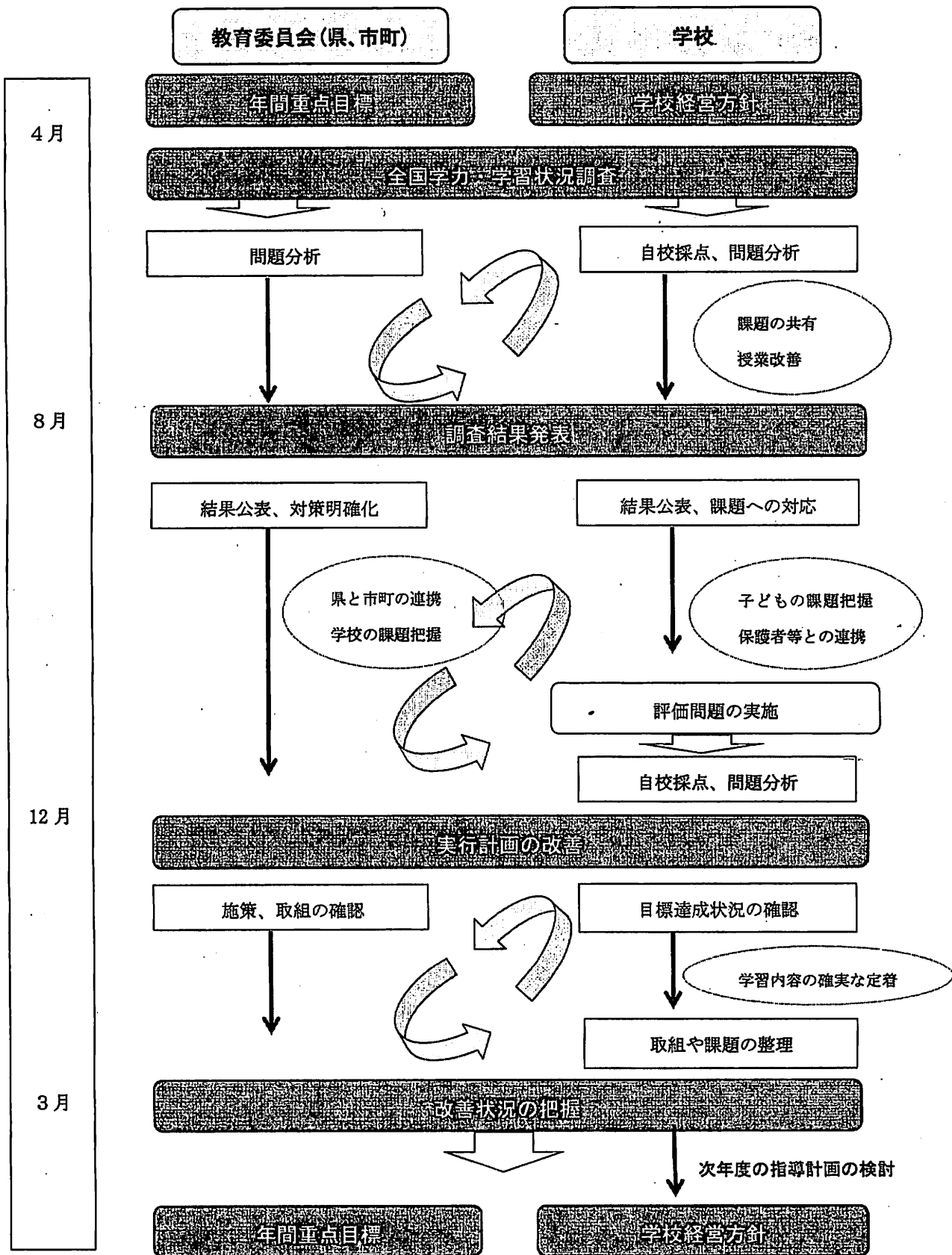
(しが英語力育成プロジェクト)

# 5 プランの進行計画

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年スパン(Ⅰ期・Ⅱ期)で4年計画を策定</li> <li>・学力・学習状況等の改善の方向性と施策を示す</li> </ul>		Ⅰ期	基礎的・基本的な知識・技能の定着 学び方の指導、学ぶ意欲の向上 学習状況や生活習慣の改善		Ⅱ期	思考力・判断力・表現力の育成 課題発見能力・問題解決能力の育成
(1)一人ひとりの学ぶ力を高めるプラン	体験活動の推進	体験活動	<うみのこ、やまのこ、たんぼのこによる体験活動など> 豊かな人間性や人間関係を築く力を培う			
	キャリア教育の推進	中学生チャレンジウィーク	<中学生チャレンジウィーク> 社会人・職業人として自立できる子どもの育成の推進			
	個に応じたきめ細かな指導の推進	少人数教育	<少人数学級・少人数指導> 一人ひとりに応じて個性や能力を伸ばす			
(2)生活の中で学ぶ力をつけるプラン	体験を通して学びの基礎を育成	学びの基礎指導の手引きの作成・配付	<学びの基礎体験型学習プロジェクト> 手引きを活用した授業研修会の実施 各学校・園での実践			
	学び合う学習環境づくり	学級活動いきいき体験プロジェクト	<学級活動スキルアップ事業> 学び合う学習集団を作る取組			
	自他を尊重する集団づくり	絆をつむぐ学校づくり	<滋賀県「絆をつむぐ学校づくり」推進事業> 自分も他の人も大切にしたい集団をつくる取組の推進			
(3)繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出すプラン	繰り返し取り組み、学ぶ意欲の向上や自信の獲得	つまづき診断テスト 学び直しの問題集の配付・活用	<学年別ステップアップ事業> 評価問題でつまづきを把握 学習プリントを活用して学び直し 基礎的・基本的な知識・技能の定着 → 思考力・判断力・表現力の育成			
	個に応じた学習サポートや運動機会の充実	放課後学習バックアップ事業	<放課後等活用事業> 放課後の活用を支援 補充学習の充実 運動機会の充実			
	基礎的・基本的な知識・技能の定着	言語活動スタートアップ事業 学ぶ力パワーアップ事業	<学ぶ力パワーアップ事業> 基礎学力を向上させる実践研究 成果の普及、各学校での実践			
(4)放課後や家での時間の使い方を考えるプラン	放課後等の補充学習、運動機会の充実	放課後学習バックアップ事業	<放課後等活用事業>(再掲) 放課後の活用を支援 補充学習の充実 運動機会の充実			
	家庭での学習習慣や主体的な家庭学習の確立	家庭学習の手引きの作成・配付	<家庭学習の充実> 各市町や学校で手引きを作成 児童生徒に家庭学習の意義や方法指導 保護者に家庭学習の意義を説明、共通実践			
	人間関係の育成や生活習慣の改善についての啓発	学習習慣・生活習慣の改善	<家庭向け各広報など> リーフレット等で学習習慣・生活習慣の改善を啓発 県民運動の展開 食育の日の推進			
(5)県全体で子どもの力を伸ばすプラン	学校、家庭、地域社会が一体となり、自己実現を図れるよう支援	子ども輝き人権教育推進事業	<自尊感情・学びの礎育成プロジェクト事業> 授業づくり、仲間づくり、環境づくりなどを通して、日常的・継続的に自尊感情を育む取組を推進			
	土曜日ならではの豊かな教育環境の提供	土曜日を活用した特色ある教育活動	<学ぶ力を育てる土曜学習支援事業> <土曜授業推進事業> 地域人材の協力により、豊かで有意義な土曜日を提供			
	体力向上・運動機会の充実	体力向上支援事業	<体育授業力向上事業> 体育の授業づくり・体力向上の推進			
(6)授業を改善するプラン	思考力・判断力・表現力の育成	学力向上アプローチ事業	<学力向上アプローチ事業> 活用する力をつける実践研究 成果の普及、各学校での実践			
	教科指導力の向上	教科主任指導力向上研修	<教科主任指導力向上研修> 校内研究の充実を図る研修の充実 初任者研修・10年経験者研修の内容精選・充実			
	系統的な英語教育の推進	英語力向上に向けての調査・研究	<しが英語力育成プロジェクト> 小・中・高を通じた系統的な英語教育を推進			

## 6 学習状況の改善のPDCAサイクルの確立

### 全国学力・学習状況調査を活用した検証と学習状況の改善のPDCAサイクルの確立





# 学ぶ力向上 滋賀プラン資料

夢と生きる力を育てる

資料1 学ぶ力を育むための6つの視点についての経年変化

学ぶ力を育むための6つの視点についての経年変化

全国学力・学習状況調査の児童・生徒質問紙の設問の多くは、4択になっているので、各設問に対して、それぞれの回答を次のように得点化している。

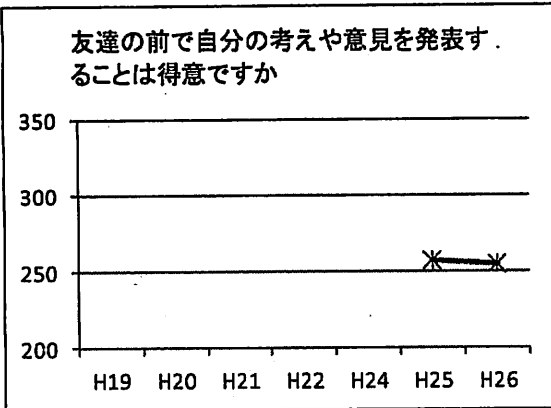
「当てはまる」…4点、「どちらかといえば当てはまる」…3点、「どちらかといえば当てはまらない」…2点、「当てはまらない」…1点とし、それぞれ回答した割合とこれらの点数をかけて合計したものを縦軸にし、経年の変化をグラフで表した。

※1「読書…」については、30分以上:4点、10~30分:3点、10分未満:2点、全くない:1点とした。

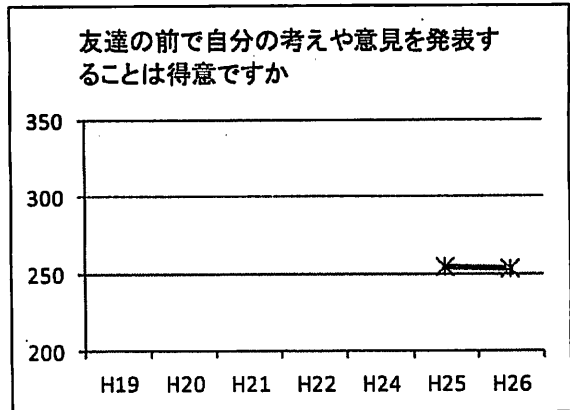
※2「400字詰め原稿用紙…」については、そう思わない:4点、どちらかといえばそう思わない:3点、どちらかといえばそう思う:2点、そう思う:1点とした。

1 一人ひとりの学ぶ力を高める

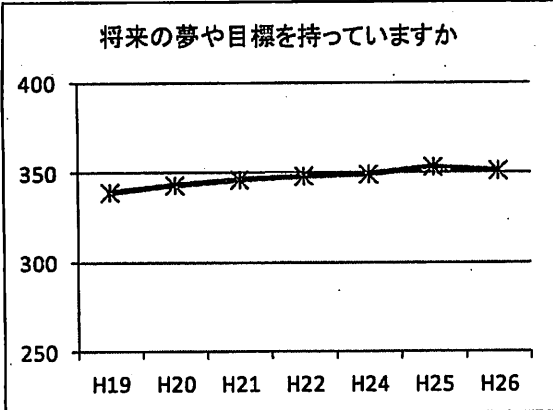
小学校



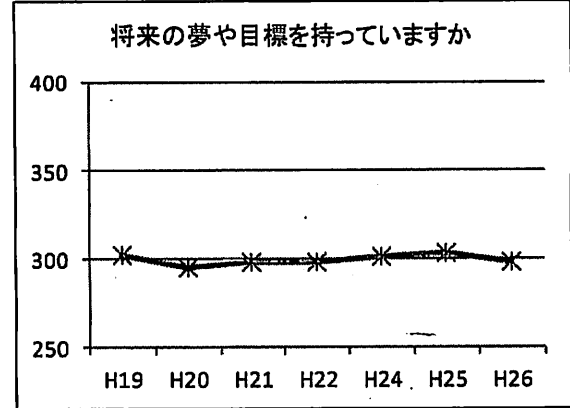
中学校



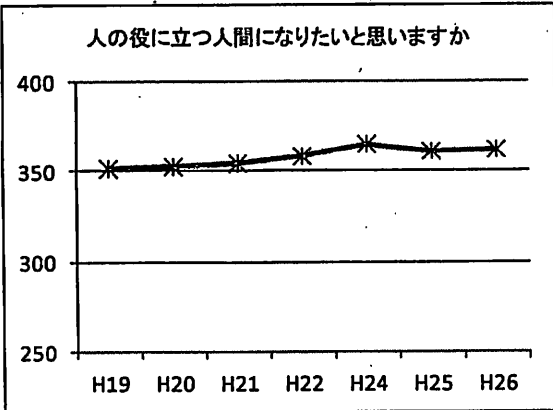
小学校



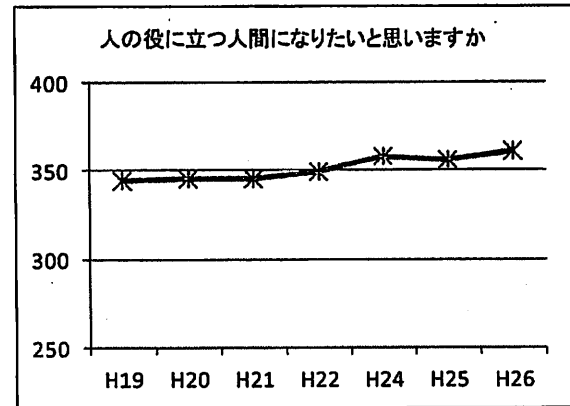
中学校



小学校

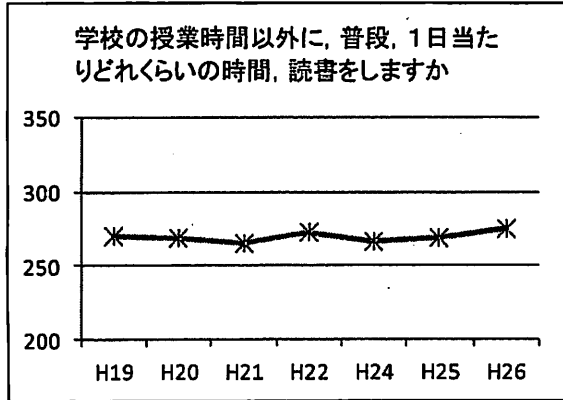


中学校

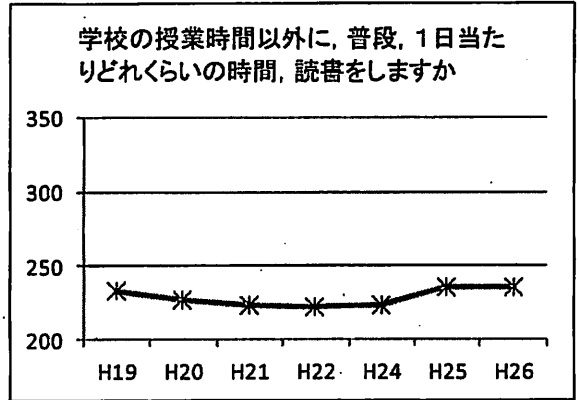


## 2 生活の中で学ぶ力をつける

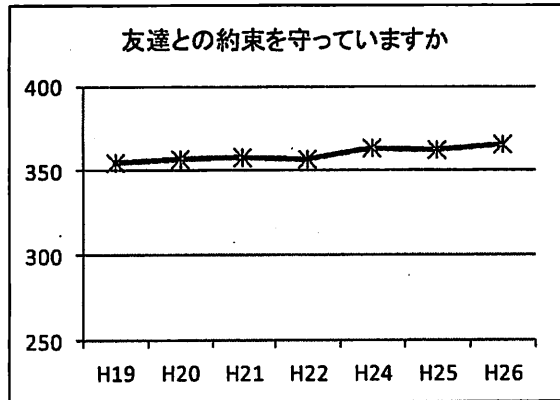
小学校 ※1



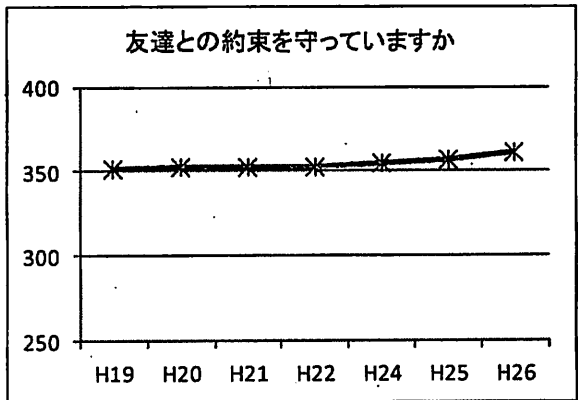
中学校 ※1



小学校

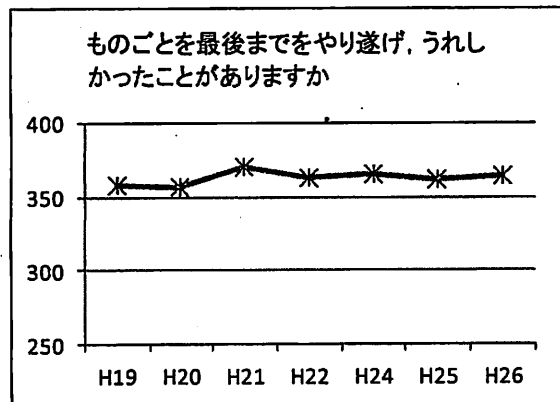


中学校

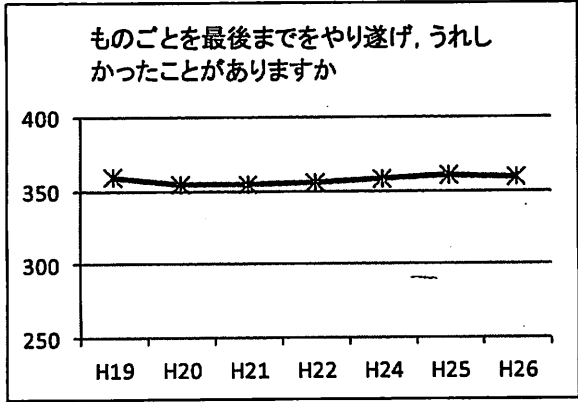


## 3 繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す

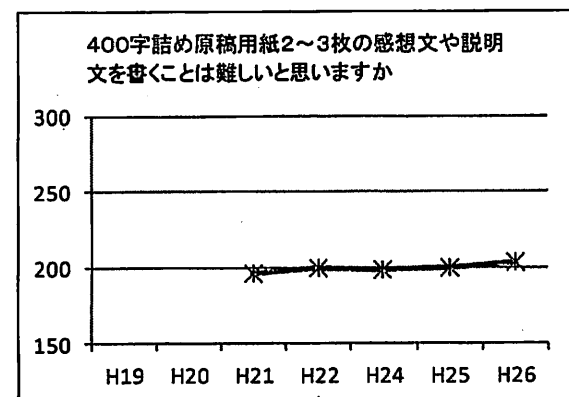
小学校



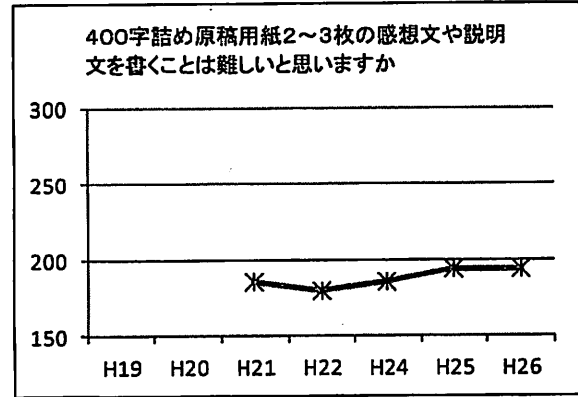
中学校



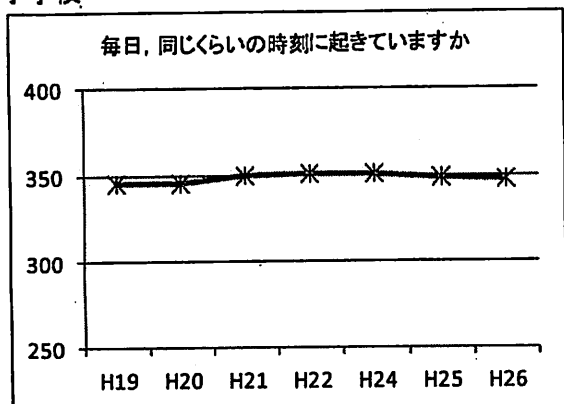
小学校 ※2



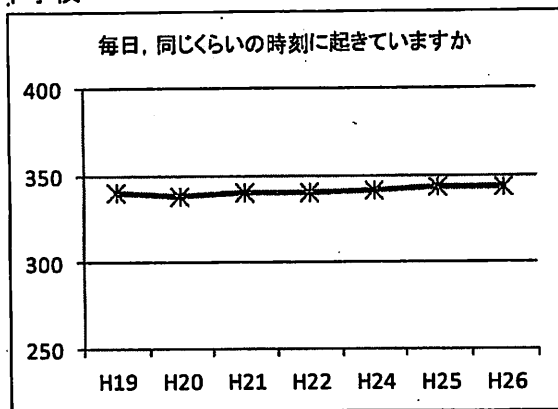
中学校 ※2



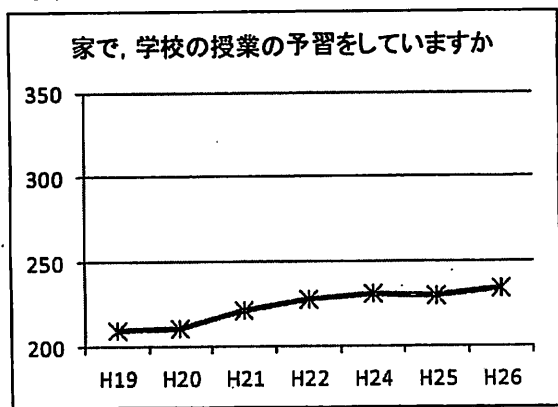
4 放課後や家での時間の使い方を考える  
小学校



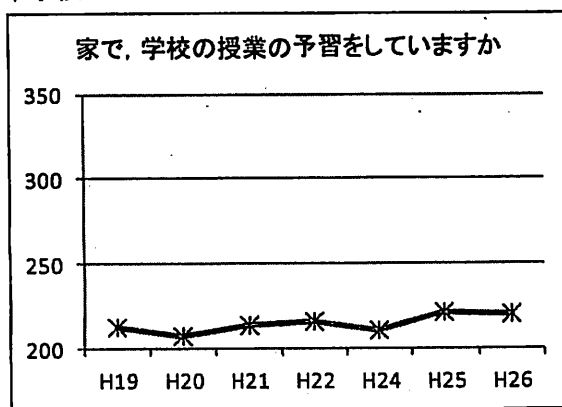
中学校



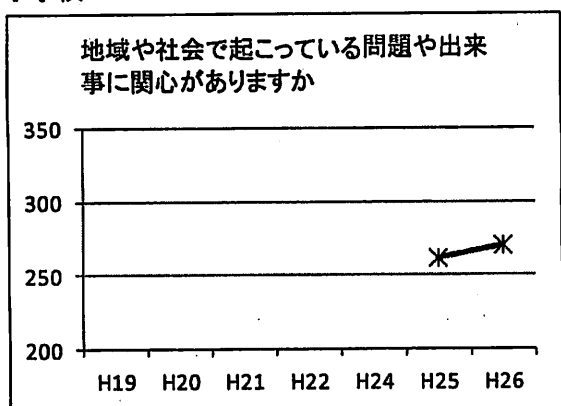
小学校



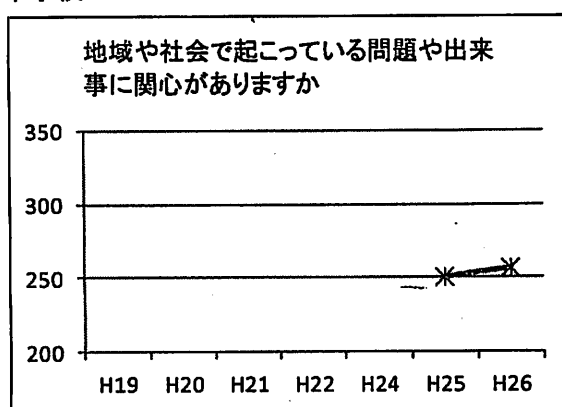
中学校



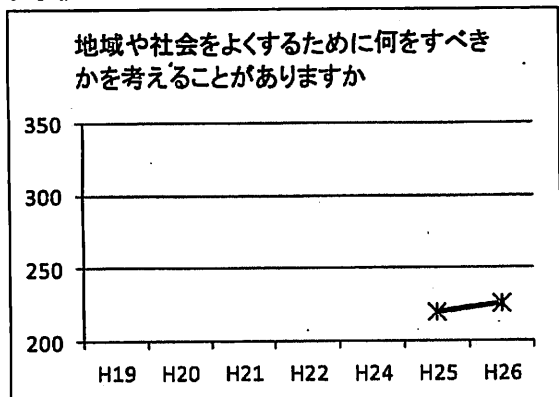
5 県全体で子どもの力を伸ばす  
小学校



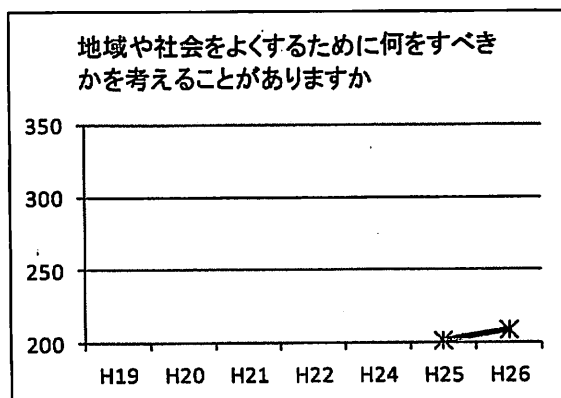
中学校



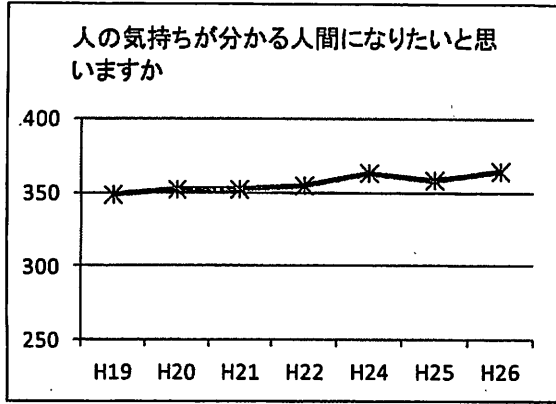
小学校



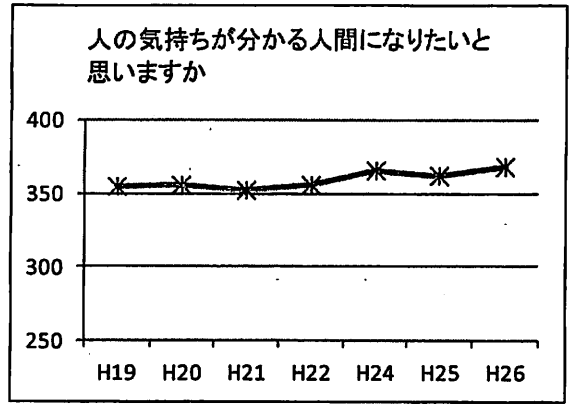
中学校



小学校

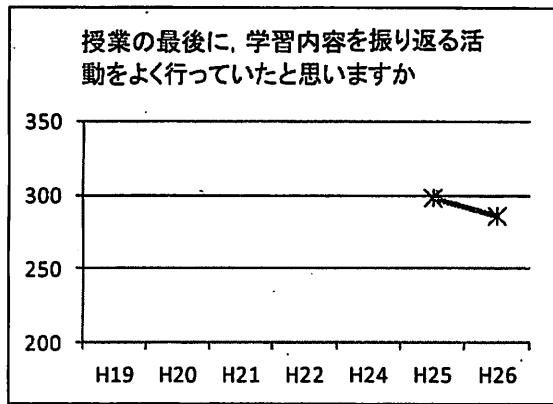


中学校

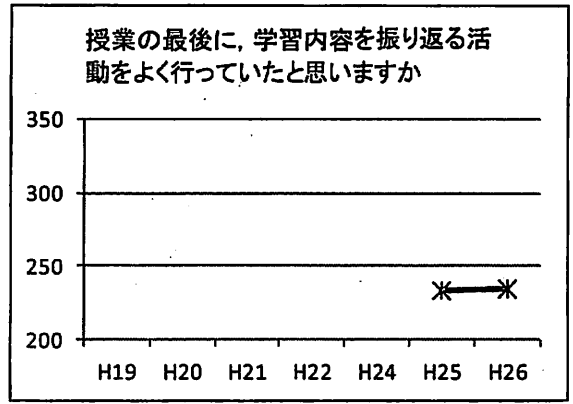


6 授業を改善する

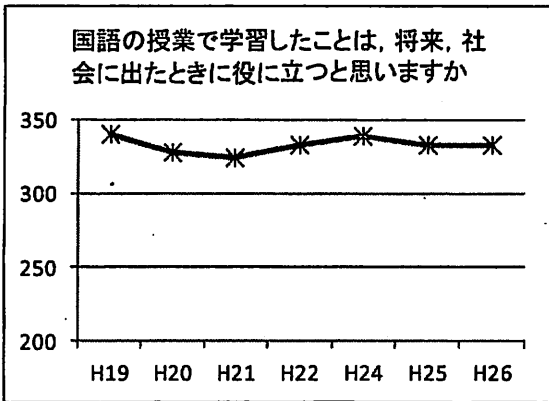
小学校



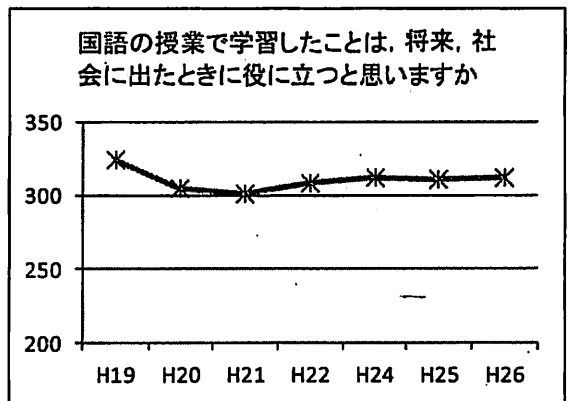
中学校



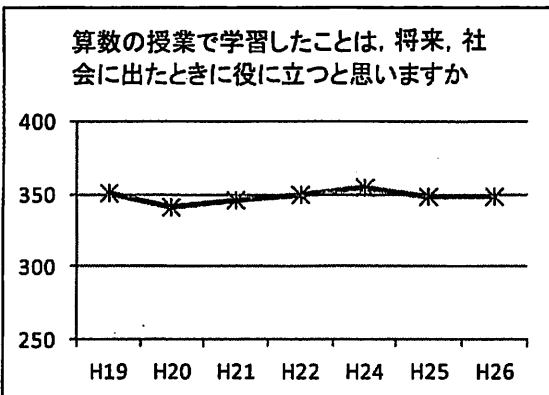
小学校



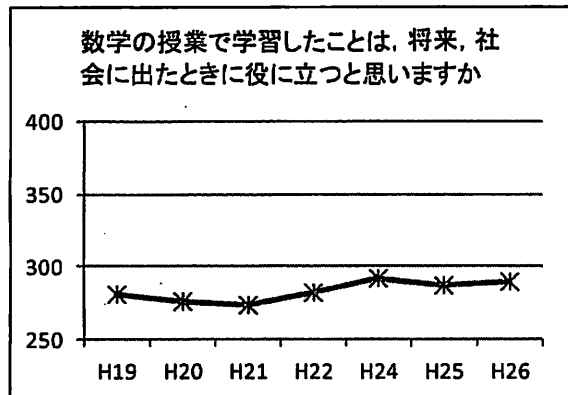
中学校



小学校



中学校



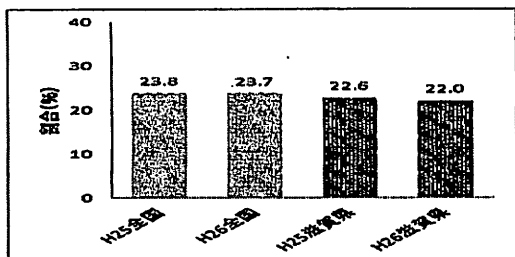
資料2 学ぶ力を育む6つの視点を基にした児童生徒質問紙の分析

平成26年度の状況を○△×で評価  
 ○：全国よりも上回っているか同じ  
 △：全国よりも2.0ポイント未満下回る  
 ×：全国よりも2.0ポイント以上下回る

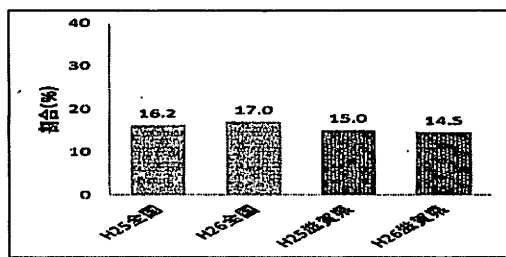
(1) 一人ひとりの学ぶ力を高める

【質問項目】 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか

小学校 (当てはまると回答した割合) △



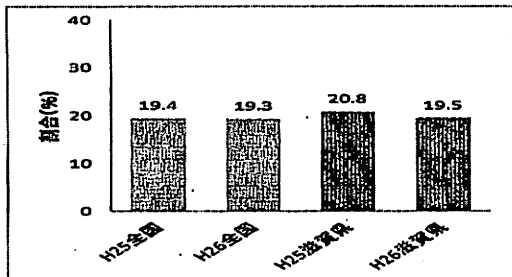
中学校 (当てはまると回答した割合) ×



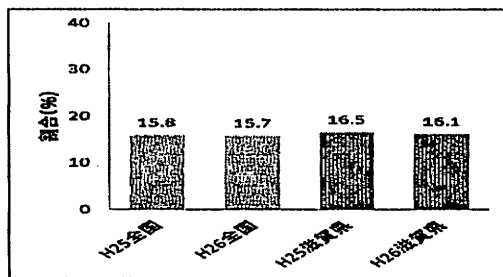
小学校、中学校ともに、平成25年度から比べるとわずかに減少している。

【質問項目】 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか

小学校 (当てはまると回答した割合) ○



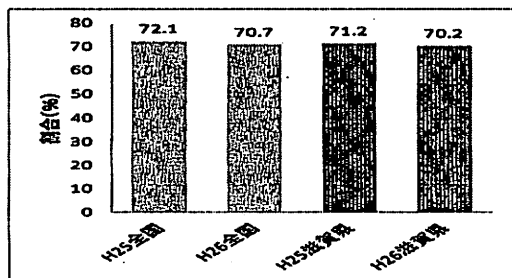
中学校 (当てはまると回答した割合) ○



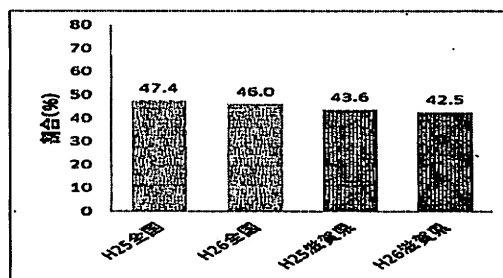
小学校、中学校ともに、得意と考えている児童生徒が全国よりやや多い。

【質問項目】 将来の夢や目標を持っていますか

小学校 (当てはまると回答した割合) △



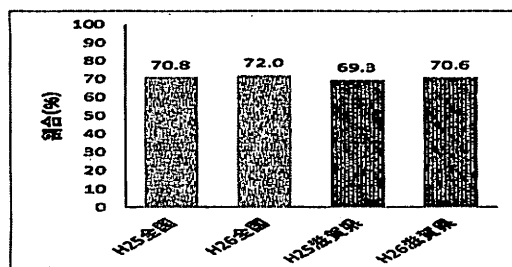
中学校 (当てはまると回答した割合) ×



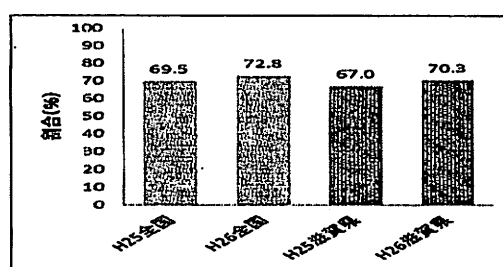
中学校では、そう思うと答えた生徒が、全国の割合と比べると低く、課題がある。

【質問項目】 人の役に立つ人間になりたいと思いませんか

小学校 (当てはまると回答した割合) △



中学校 (当てはまると回答した割合) ×

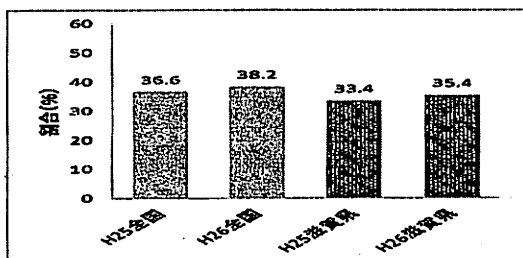


小学校、中学校ともに、平成25年度から比べると増加傾向にある。

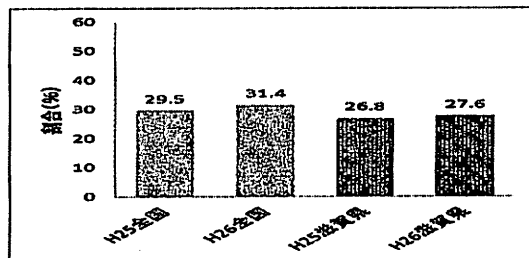
## (2) 生活の中で学ぶ力をつける

【質問項目】 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書，漫画や雑誌除く）

小学校（30分以上すると回答した割合）×



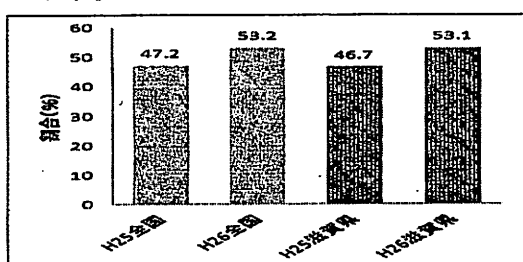
中学校（30分以上すると回答した割合）×



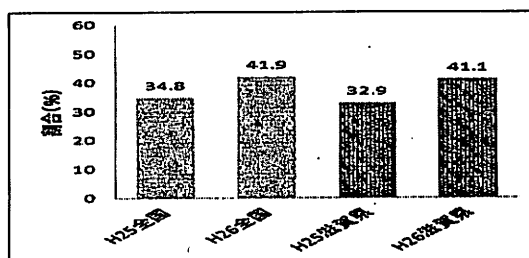
小学校、中学校ともに、30分以上すると答えた生徒が、全国の割合と比べると低く、課題がある。

【質問項目】 家の人と学校での出来事について話をしますか

小学校（していると回答した割合）△



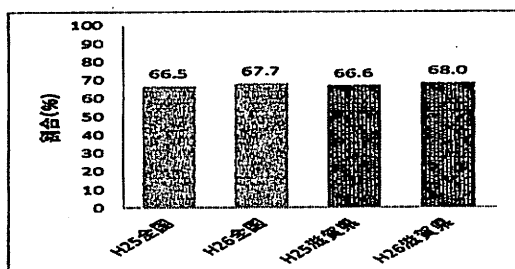
中学校（していると回答した割合）△



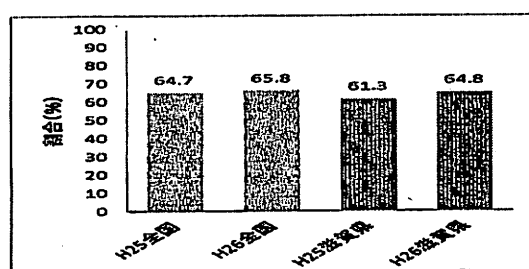
小学校、中学校ともに、平成25年度から比べると増加傾向にあり、割合も全国とほぼ同じである。

【質問項目】 友達との約束を守っていますか

小学校（当てはまると回答した割合）○



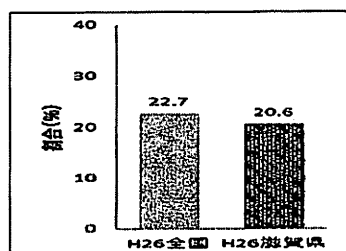
中学校（当てはまると回答した割合）△



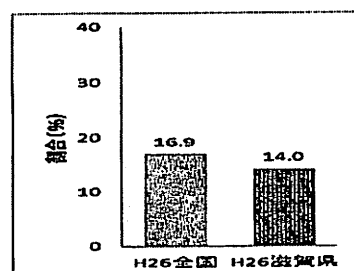
小学校では、友達との約束を守ることに、よくそう思うと答えた児童の割合が、全国よりも多い。

【質問項目】 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

小学校（そう思うと回答した割合）×



中学校（そう思うと回答した割合）×

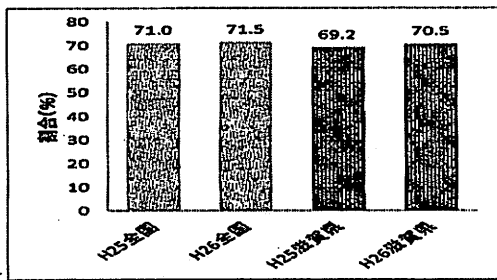


小学校、中学校ともに、よくできていると答えた児童生徒の割合が低く、課題がある。

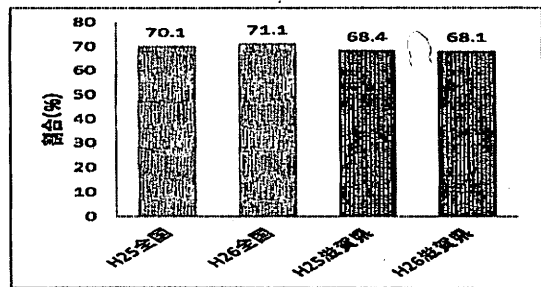
(3) 繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す

【質問項目】 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか

小学校 (当てはまると回答した割合) △



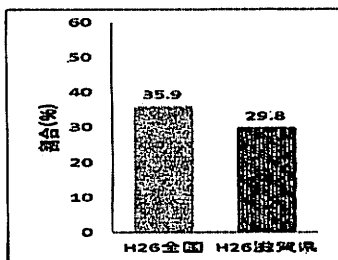
中学校 (当てはまると回答した割合) ×



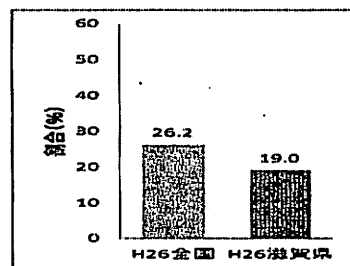
小学校、中学校ともに、よくできていると答えた児童生徒の割合が低く、課題がある。

【質問項目】 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

小学校 (当てはまると回答した割合) ×



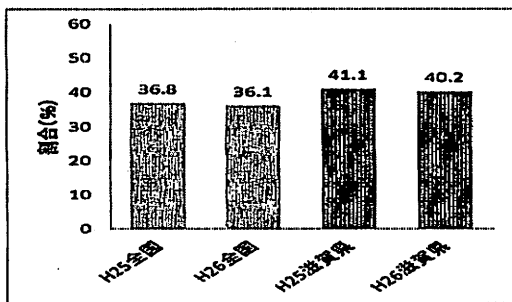
中学校 (当てはまると回答した割合) ×



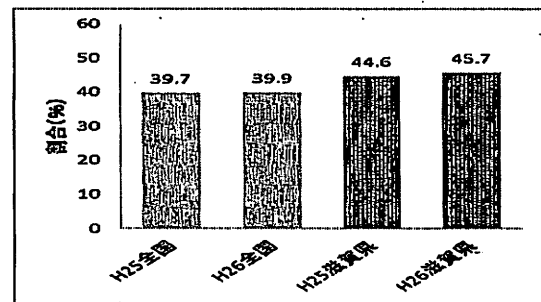
小学校、中学校ともに、よいところを認めてもらっていると考えている割合が少なく、課題がある。

【質問項目】 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか

小学校 (そう思うと回答した割合) ×



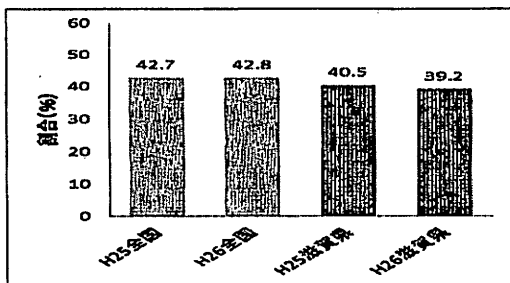
中学校 (そう思うと回答した割合) ×



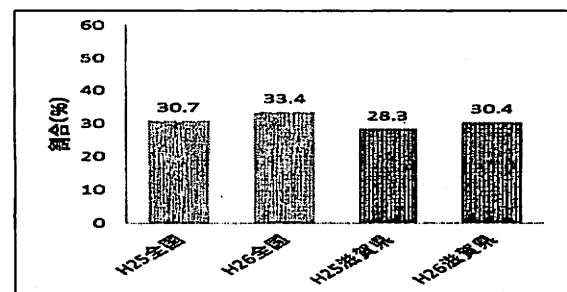
小学校、中学校ともに、書くことが難しいと考えている割合が多く、課題がある。

【質問項目】 算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか

小学校 (当てはまると回答した割合) ×



中学校 (当てはまると回答した割合) ×



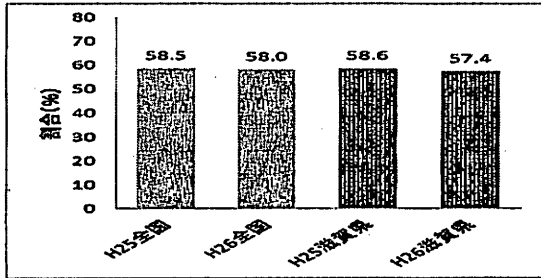
中学校では、平成25年度に比べ割合が増えているが、全国の割合よりも低くなっている。



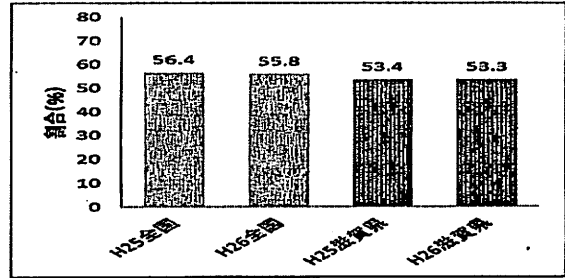
#### (4) 放課後や家での時間の使い方を考える

【質問項目】 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

小学校 (していると回答した割合) △



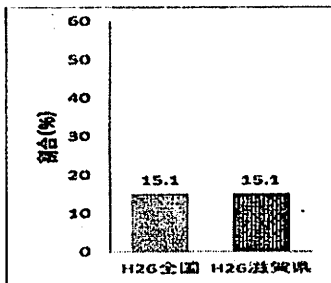
中学校 (していると回答した割合) ×



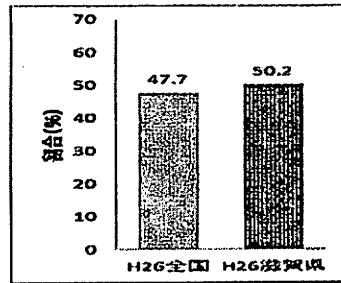
小学校では、同じくらいの時刻に起きている児童が全国よりやや多かったが、26年度は減少した。

【質問項目】 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(ゲームをする時間は除く)

小学校 (1時間以上すると回答した割合) ○



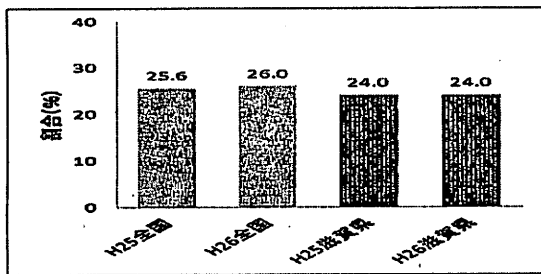
中学校 (1時間以上すると回答した割合) ×



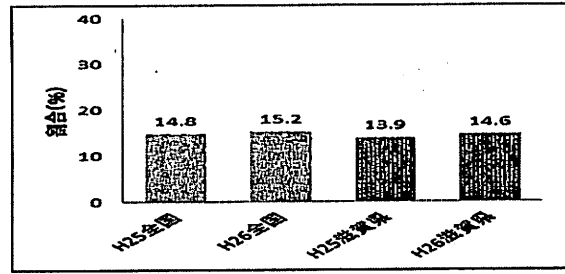
中学校では、1時間以上すると答えた生徒の割合が全国より多く、課題がある。

【質問項目】 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか

小学校 (していると回答した割合) ×



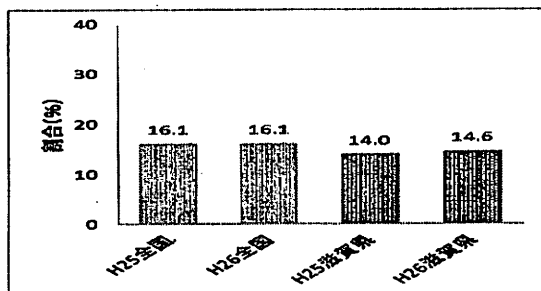
中学校 (していると回答した割合) △



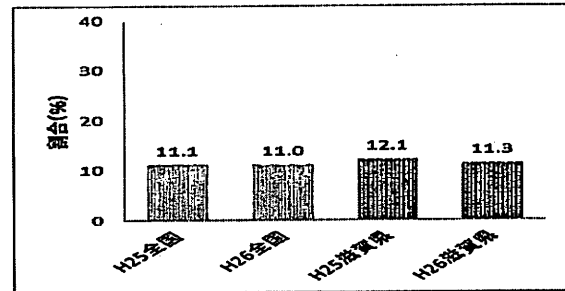
小学校では、自分で計画を立てて勉強をよくしていると答えた児童の割合が低く、課題がある。

【質問項目】 家で、学校の授業の予習をしていますか

小学校 (していると回答した割合) △



中学校 (していると回答した割合) ○

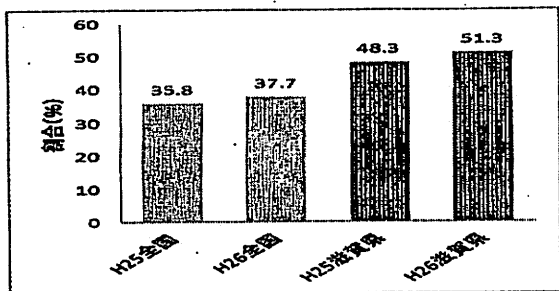


小学校では、学校の授業の予習をよくしていると答えた児童の割合が低い。

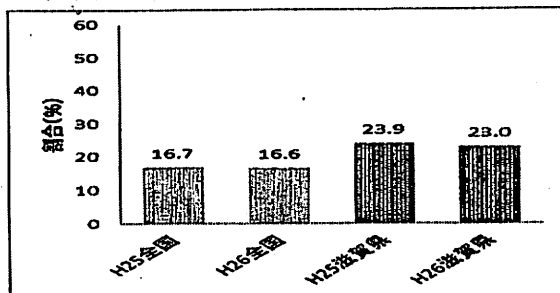
### (5) 県全体で子どもの力を伸ばす

【質問項目】 今住んでいる地域の行事に参加していますか

小学校 (当てはまると回答した割合) ○



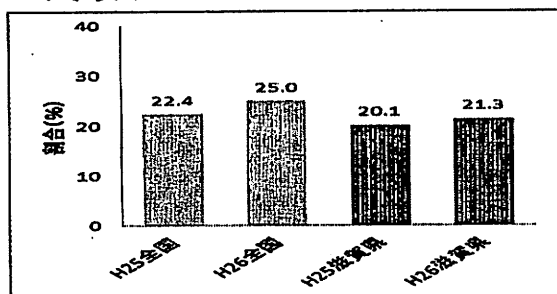
中学校 (当てはまると回答した割合) ○



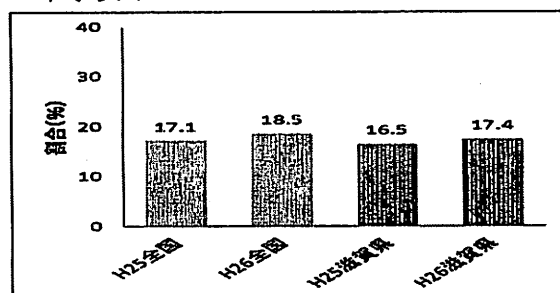
小学校、中学校ともに、よく参加していると答えた児童生徒の割合が全国より多く、滋賀の強みである。

【質問項目】 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか

小学校 (当てはまると回答した割合) ×



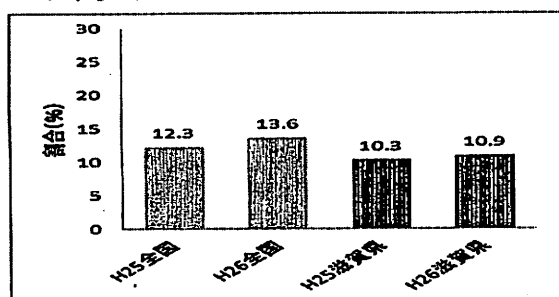
中学校 (当てはまると回答した割合) △



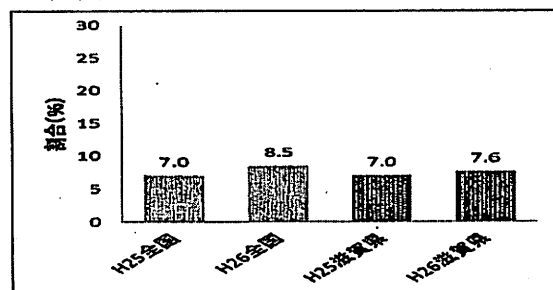
小学校、中学校ともに、そう思うと答えた児童生徒の割合が低く、課題がある。

【質問項目】 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

小学校 (当てはまると回答した割合) ×



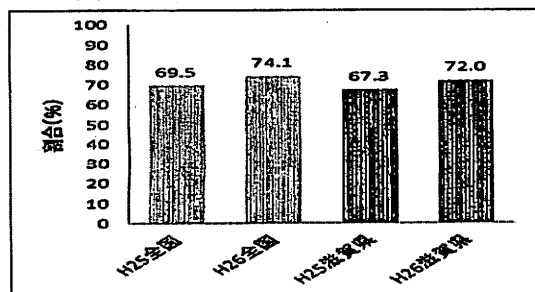
中学校 (当てはまると回答した割合) △



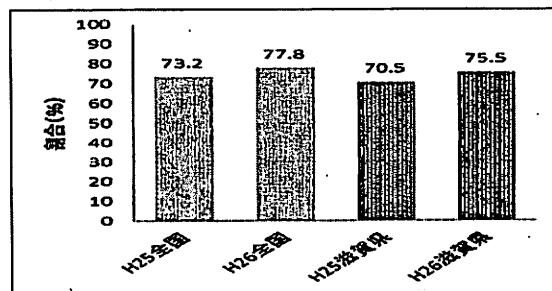
小学校、中学校ともに、そう思うと答えた児童生徒の割合が低い、平成 25 年度よりも増加している。

【質問項目】 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いませんか

小学校 (当てはまると回答した割合) ×



中学校 (当てはまると回答した割合) ×

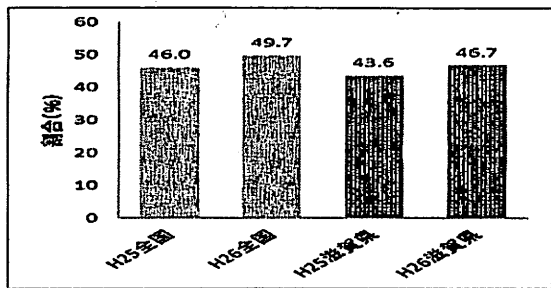


小、中学校ともに平成 25 年度よりも増加しているが、そう思うと答えた児童生徒の割合が低く、課題がある。

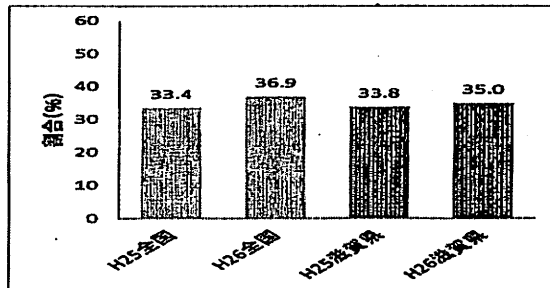
## (6) 授業を改善する

【質問項目】 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか

小学校 (当てはまると回答した割合) ×



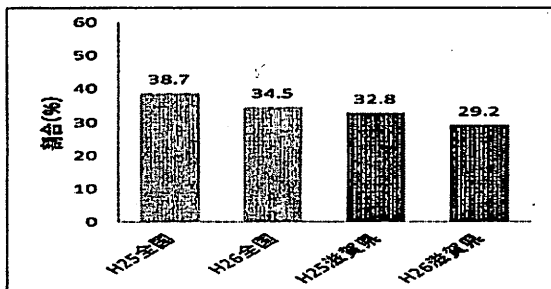
中学校 (当てはまると回答した割合) △



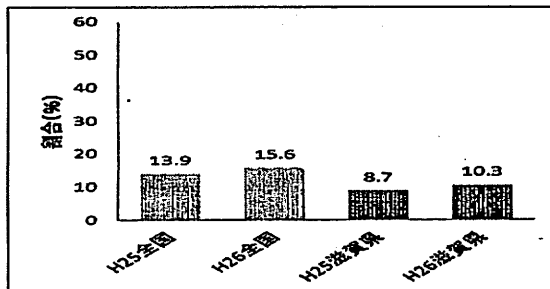
小学校、中学校ともに、そう思うと答えた児童生徒の割合が低いが、平成 25 年度よりも増加している。

【質問項目】 授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか

小学校 (当てはまると回答した割合) ×



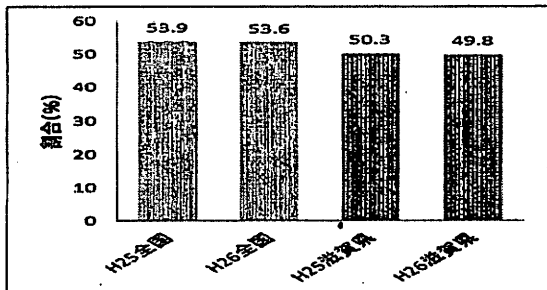
中学校 (当てはまると回答した割合) ×



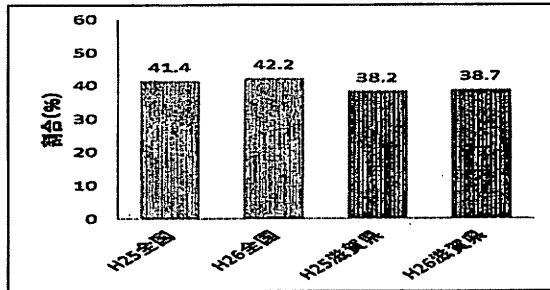
小学校、中学校ともに、振り返る活動をよく行っていると答えた児童生徒の割合が低く、課題がある。

【質問項目】 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

小学校 (当てはまると回答した割合) ×



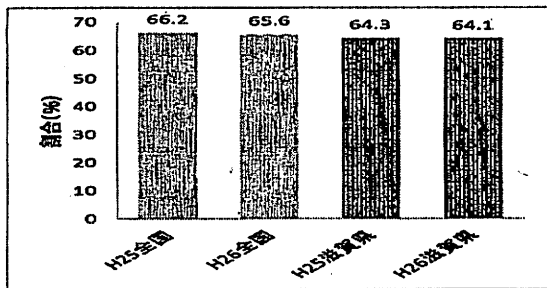
中学校 (当てはまると回答した割合) ×



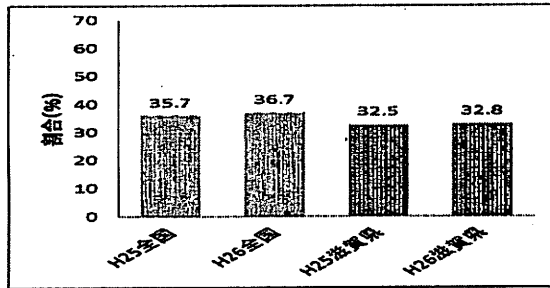
小学校、中学校ともに、そう思うと答えた児童生徒の割合が低く、課題がある。

【質問項目】 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

小学校 (当てはまると回答した割合) △



中学校 (当てはまると回答した割合) ×



中学校では、そう思うと答えた児童生徒の割合が低く、課題がある。

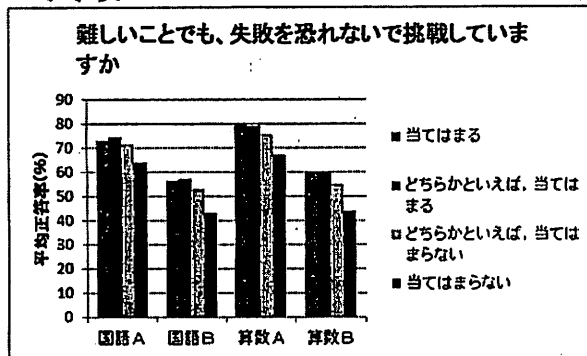
資料3 学ぶ力を育む6つの視点を基にした児童生徒質問紙の分析

教科の平均正答率とのクロス集計 (全国データで作成)

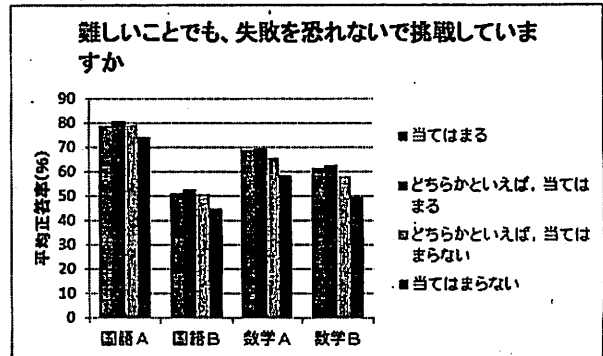
(1) 一人ひとりの学ぶ力を高める

【質問項目】 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか

小学校

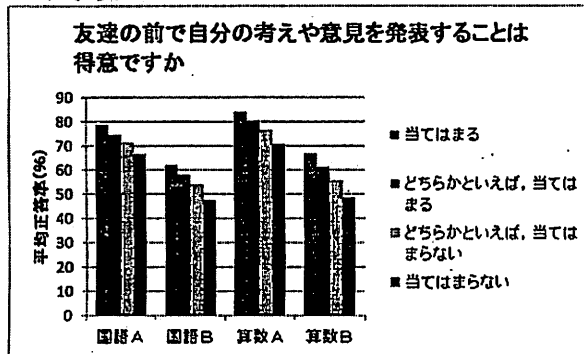


中学校

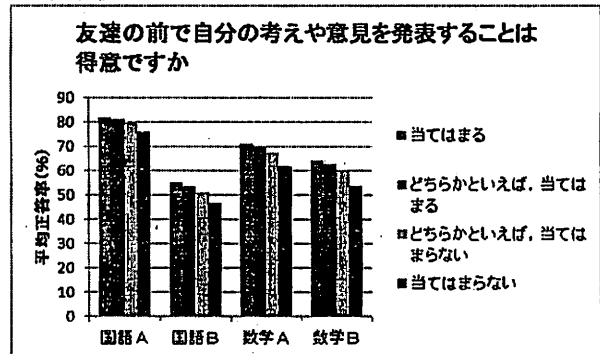


【質問項目】 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか

小学校

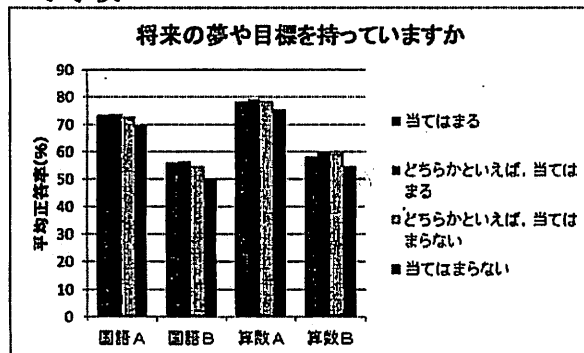


中学校

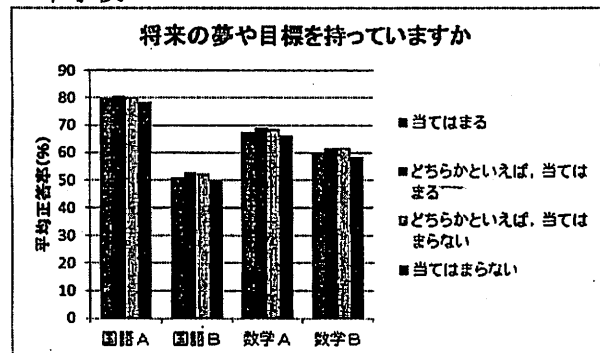


【質問項目】 将来の夢や目標を持っていますか

小学校

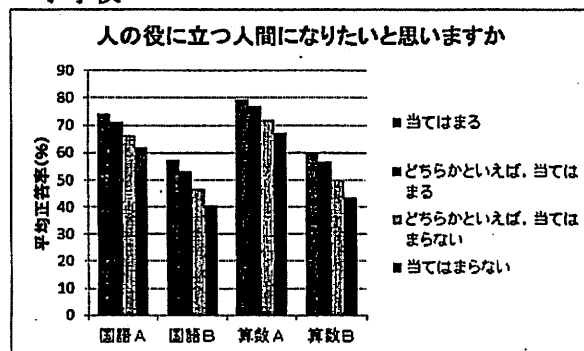


中学校

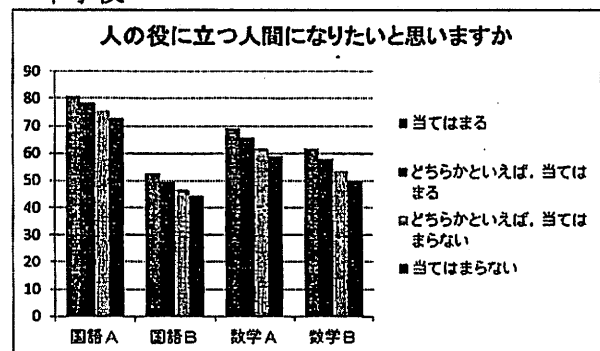


【質問項目】 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

小学校



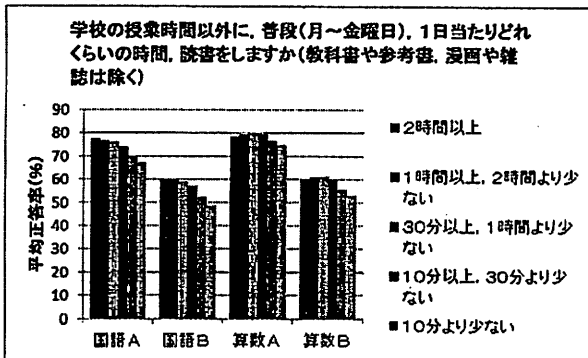
中学校



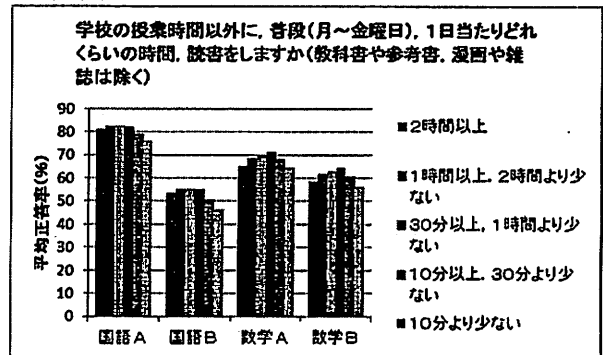
## (2) 生活の中で学ぶ力をつける

【質問項目】 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）

小学校

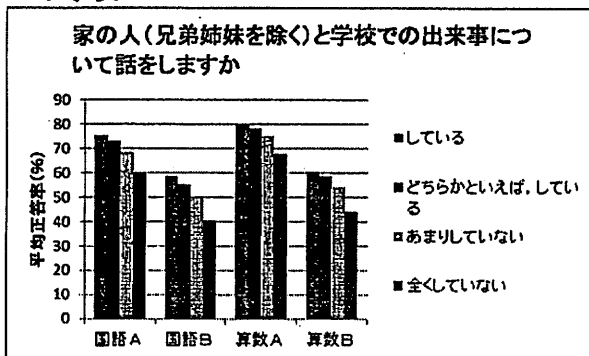


中学校

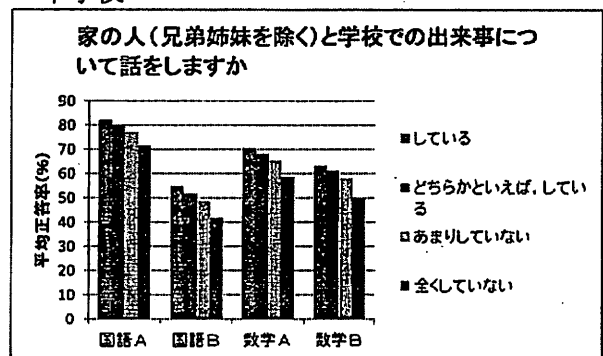


【質問項目】 家の人と学校での出来事について話をしますか

小学校

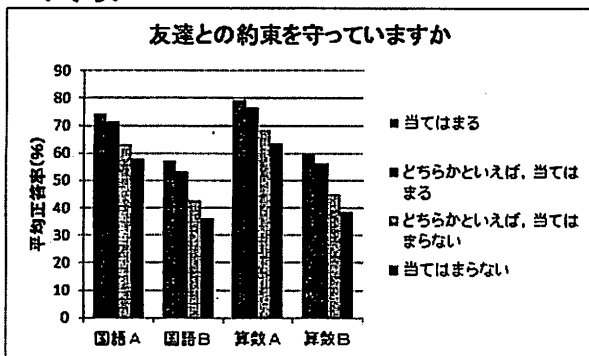


中学校

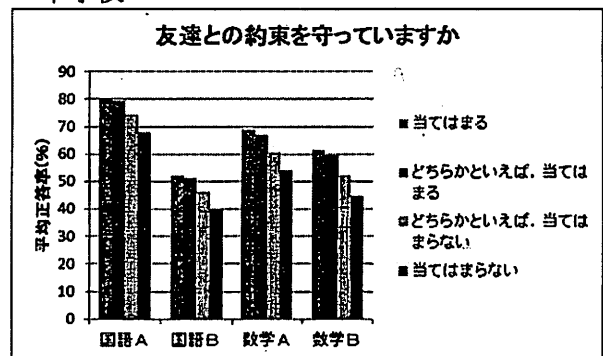


【質問項目】 友達との約束を守っていますか

小学校

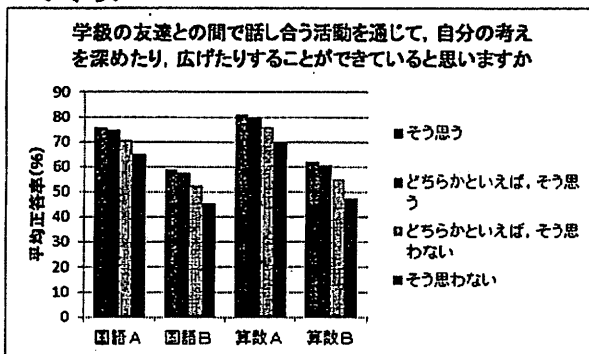


中学校

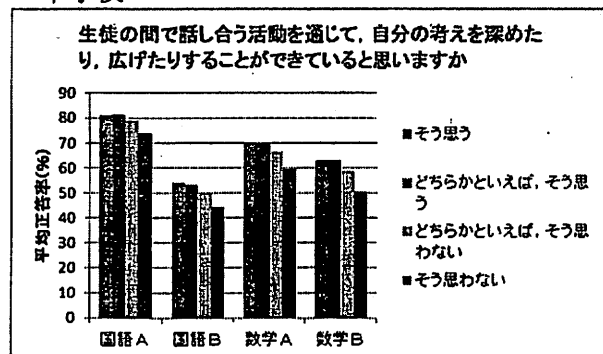


【質問項目】 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

小学校

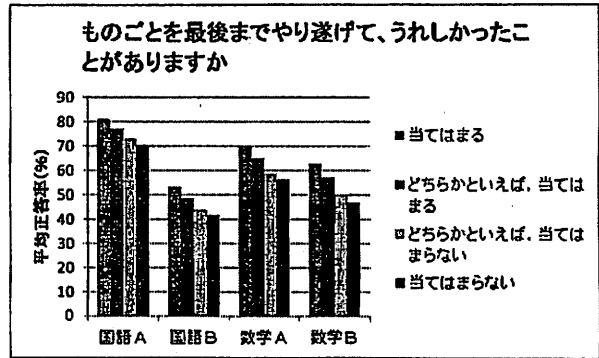
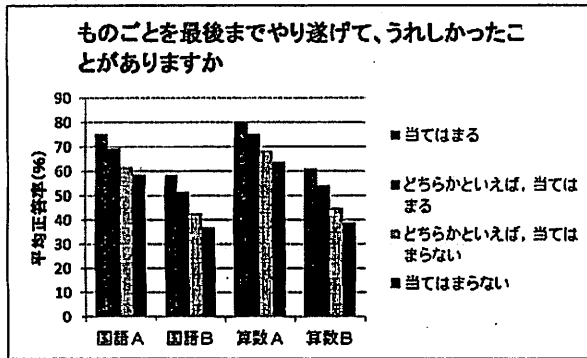


中学校

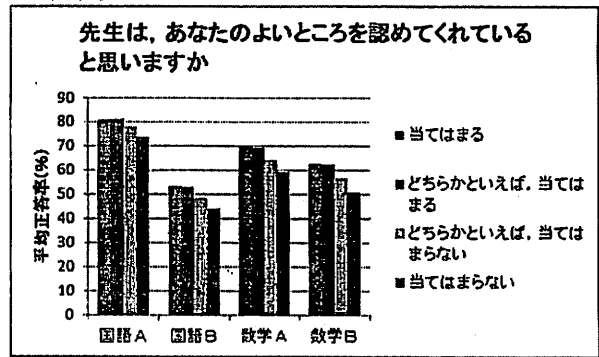
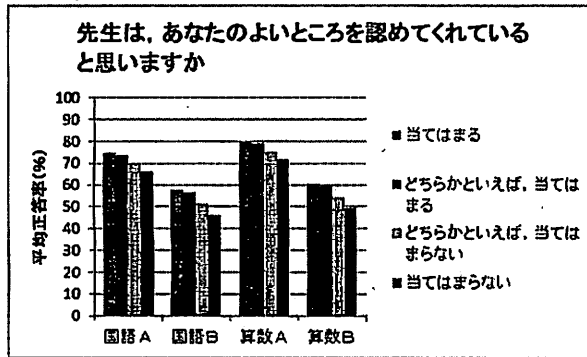


(3) 繰り返し努力したことを認め能力や可能性を引き出す

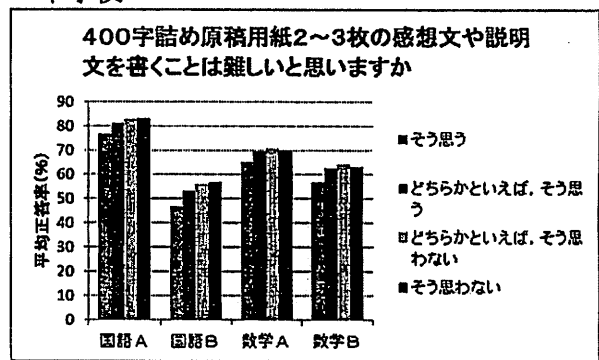
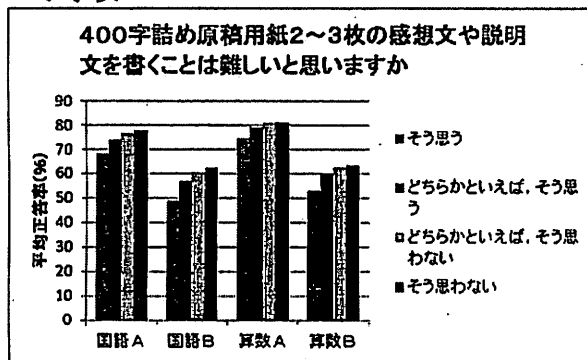
【質問項目】 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか  
小学校 中学校



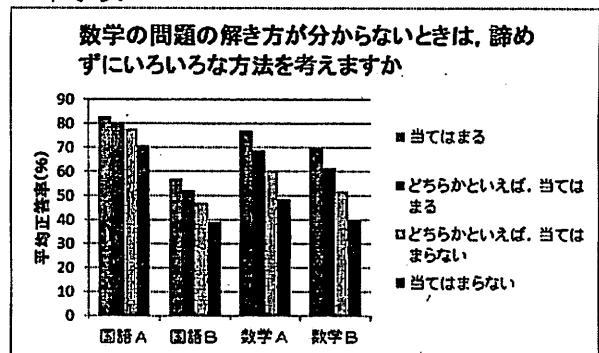
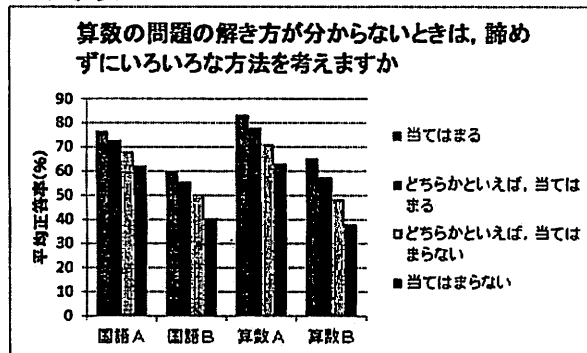
【質問項目】 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか  
小学校 中学校



【質問項目】 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか  
小学校 中学校

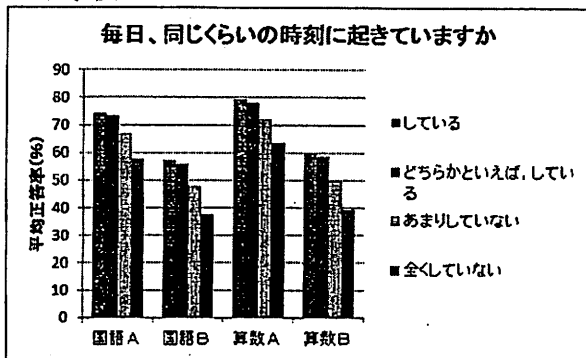


【質問項目】 算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか  
小学校 中学校

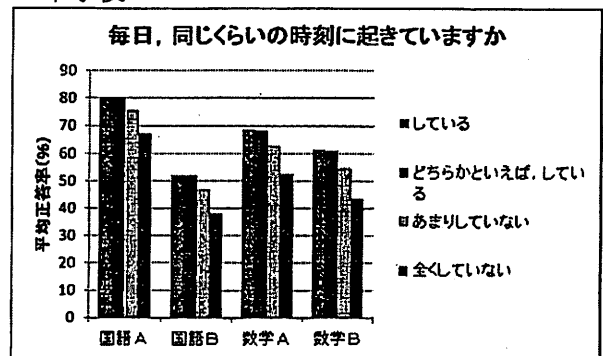


(4) 放課後や家での時間の使い方を考える

【質問項目】 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか  
小学校

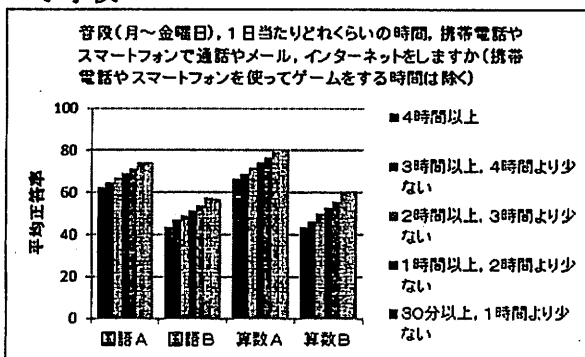


中学校

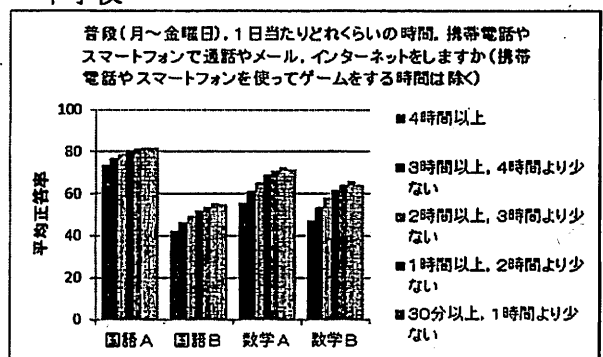


【質問項目】 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（ゲームをする時間は除く）

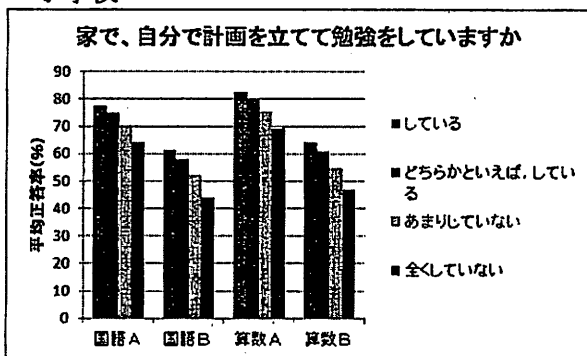
小学校



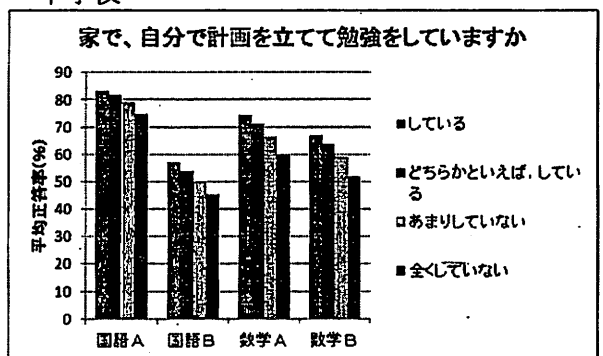
中学校



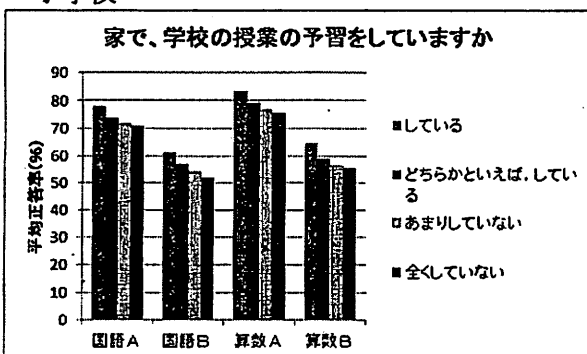
【質問項目】 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか  
小学校



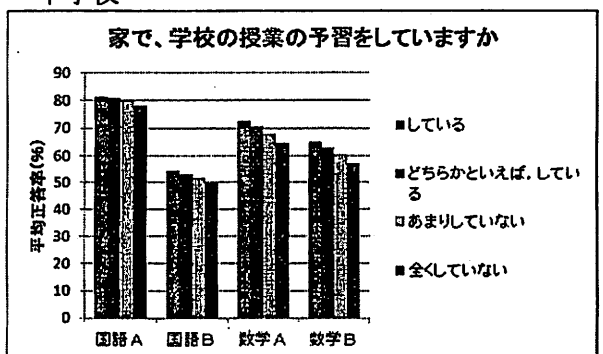
中学校



【質問項目】 家で、学校の授業の予習をしていますか  
小学校



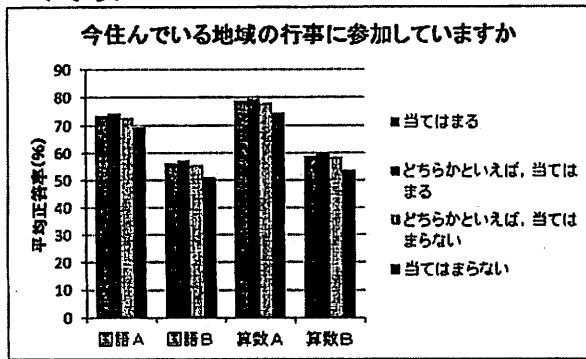
中学校



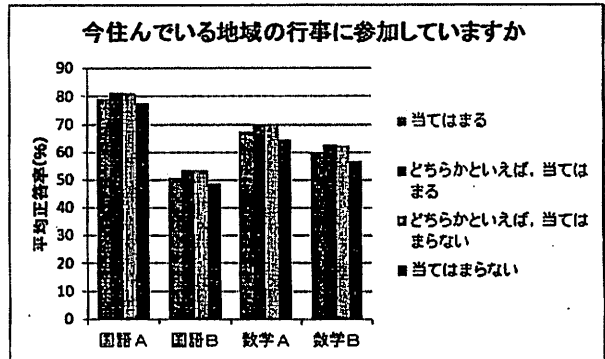
(5) 県全体で子どもの力を伸ばす

【質問項目】 今住んでいる地域の行事に参加していますか

小学校

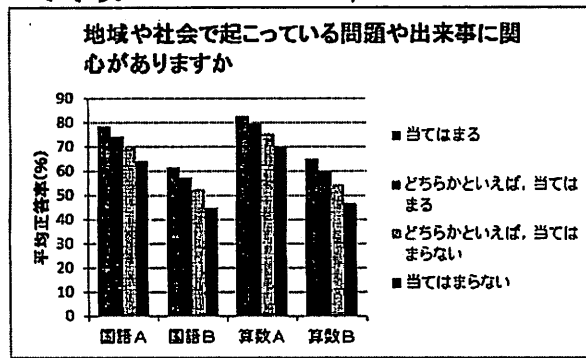


中学校

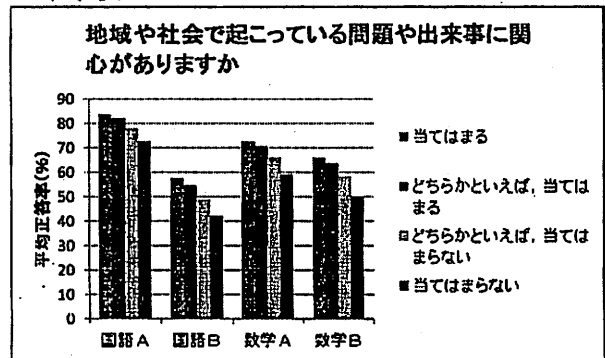


【質問項目】 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか

小学校

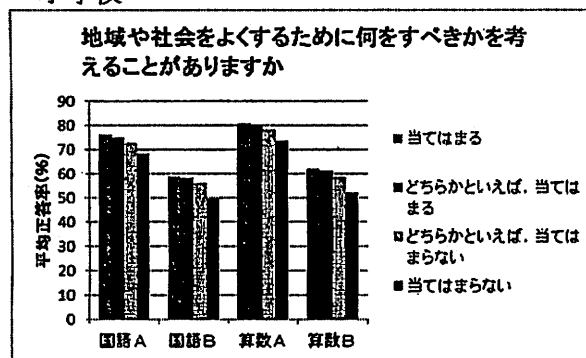


中学校

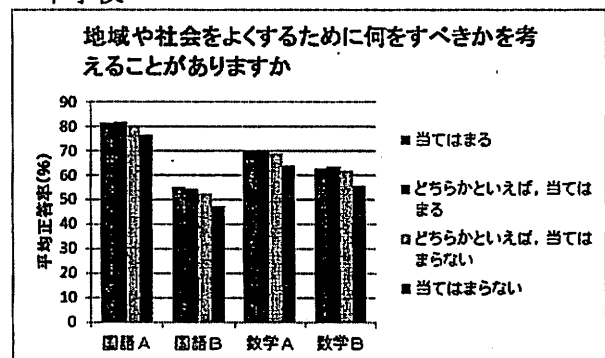


【質問項目】 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

小学校

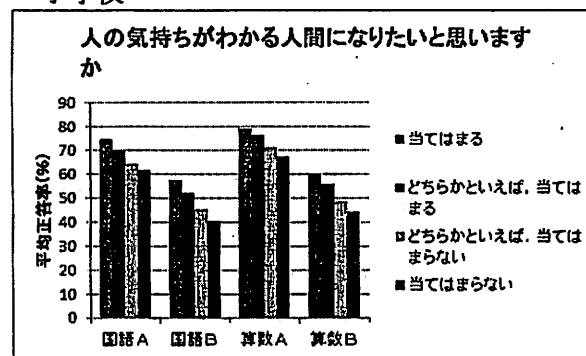


中学校

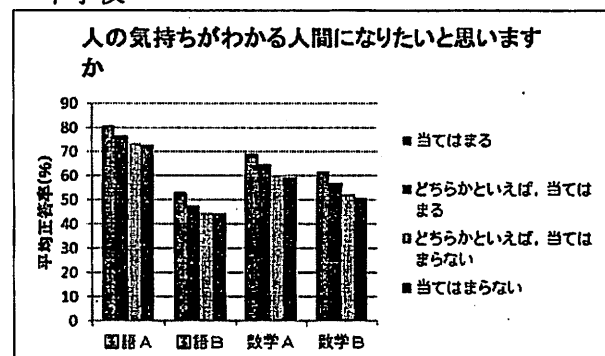


【質問項目】 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか

小学校



中学校

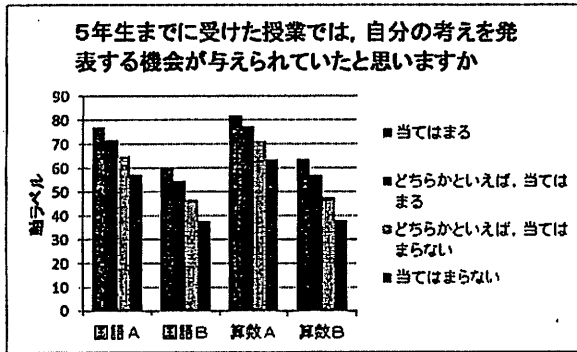




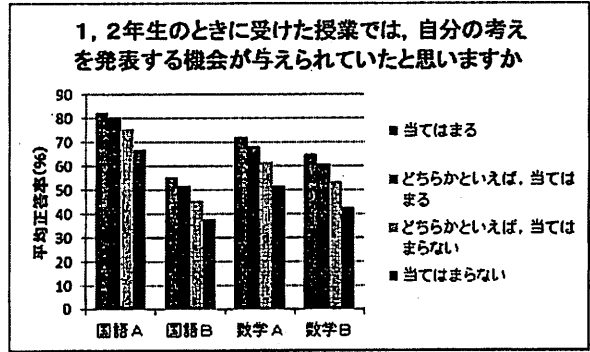
(6) 授業を改善する

【質問項目】 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか

小学校

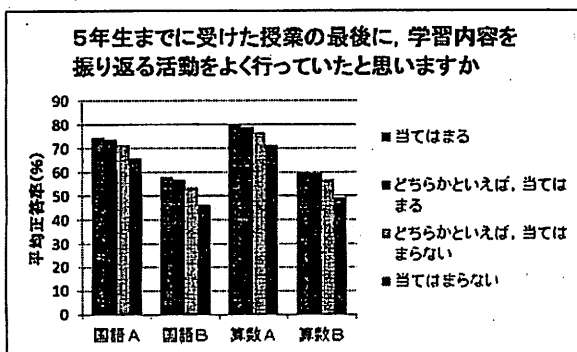


中学校

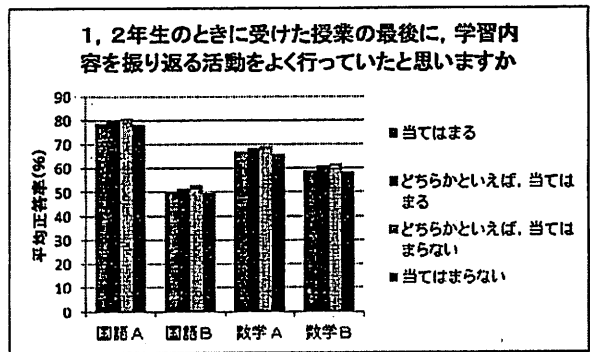


【質問項目】 授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか

小学校

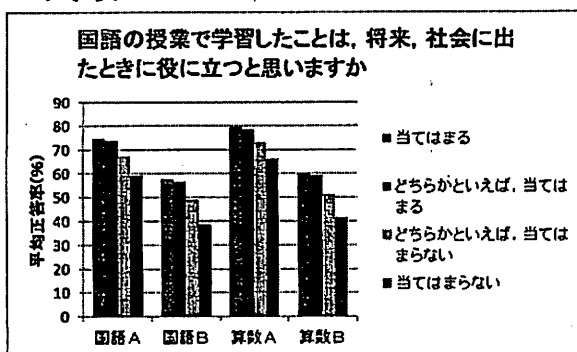


中学校

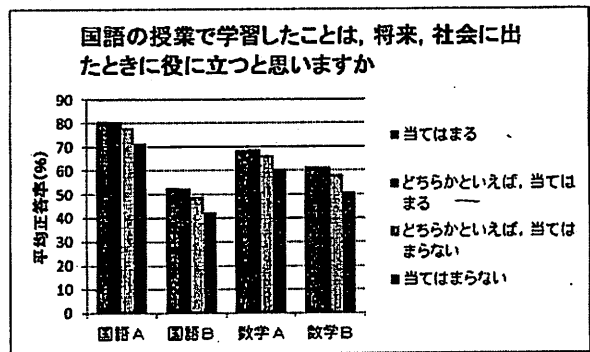


【質問項目】 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

小学校

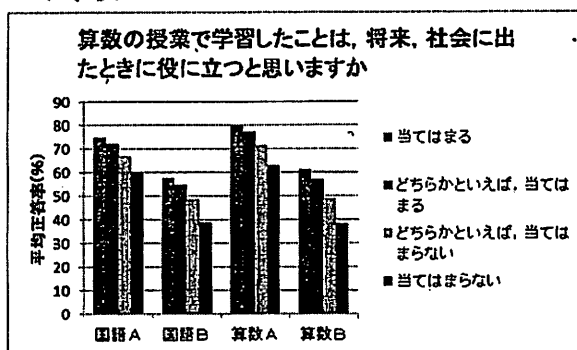


中学校

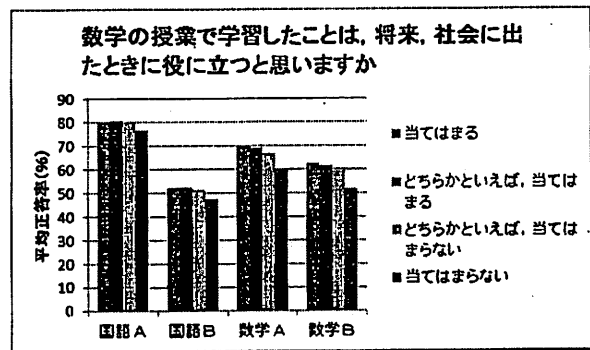


【質問項目】 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

小学校



中学校



# 資料4 学ぶ力向上のための指導実践目標

## めざす子ども像

- ・仲間と周囲とのつながりを大切に、自ら進んで学び、自分の将来を真剣に考えることのできる子どもを育てる
- ・互いの良さを認め尊重し、ほめることで自尊感情を高め、自ら進んで挑戦し、やり抜くことのできる子どもを育てる

学習 伝え合い、学び合いを中心に、共に高め合うことができる子どもの育成  
 生活 他者の個性を尊重しつつ、自己の個性を発揮しながら自立できる子どもの育成

学年	学習生活	指導実践目標	発達段階		
			学習指導	心の教育	体力向上
中3 中2	学びの意義を考え、深める 自分自身が、自分の将来に対して明確な目標を持ち、自分に合った学び方で、志をもって学習やその他の活動において学びを深める態度を育む。		仮説を立て、推論することができる時期であり、これまで身に付けたことを発展させ、自ら課題を見つけ、自分に合った学び方で主体的に解決し、学習内容の深化と個性の伸長を図る。	学級活動	自主独立の要求が高まることから、生徒の自発的自治的な活動を尊重し、生徒が自らの力で組織を作り、計画を立て、協力して話し合えるようにする。生徒の心情をよく理解し、指導・援助の在り方を工夫して、自主的、実践的な活動を促す。
			人生をよりよく生きたいという願いが強くなるため、生き方について主体的に考え、他者と協力して、自立した生活を営む力を育て、法やまじりの意義の理解や公徳心の育成を図る。	キャリア能力	社会における自らの役割や将来の生き方等について考える時期であり、自分らしい生き方を実現することについてしっかりと考え、目標を立てて計画的に取り組むことができるようにする。
			体力・運動能力が発達し、運動実践の効果も大きくなることから、各種の運動の楽しさや喜びを味わい、体力を高める運動の計画を立て実践できるように育成する。	家庭教育	大人への移行を果たそうとする子どもを見守り、対話し、理解し合い、将来の職業や進路について家族で共に考え、自ら生活リズムの改善が図れるよう促す。
中1 小6 小6	個性を伸ばし主体的に学ぶ 児童生徒自身が、あらゆる活動に主体的に取り組むことを基盤に、自分で考えたり、物事を適切に選択したりして学びが広がりが広がるよう育む。		仮説や想定など論理的な思考が発達する時期であり、既存の知識や経験を活用して、主体的に問題を解決し、論理的、抽象的な思考力等の育成を図る。	学級活動	教師に頼らず自主的に計画できるようになるため、児童生徒が活動計画を作成し、役割を分担して進められるようにする。その際、自分の言葉で話し、建設的な話し合いになるようにしたり、話し合いの質的向上を図る。
			自律的な態度、責任感、批判力などがついてくる時期であり、自己肯定感を育成するとともに、集団における役割の自覚や責任感を育み、実社会への興味・関心を持たせる。	キャリア能力	自分の役割や責任を自覚する時期であり、苦手なことにも挑戦し、そのことが集団の中で役立つ喜びや自分の自信につながり、自らの夢や希望、あこがれる自己のイメージを持てるようにする。
			物事や、自分のことを客観的に捉え、知的な活動が活発になる時期なので、各種の運動を楽しく行う中で、体力を高める運動の行い方を知り実践できるようにする。	家庭教育	子どもが失敗したり悩んだりした時には、家族で受け止めることが大切である。基本的な生活習慣を定着させ、自ら生活リズムの改善を図れるよう励ます。
小4 小3	自ら学ぶ力を獲得する 既存の学び方を用いて問題解決を図りながら、基本的な原理・原則を繰り返して学ぶことで、自分ならではの資質や能力を見出し、自分の個性を自覚するよう育む。		自分と他者との考えや視点を区別できるようになるため、学習規律や基礎的・基本的な知識や技能を繰り返して指導し、定着を図るとともに、思考力・判断力を育成する。	学級活動	ある程度見通しをもった話し合いができるようになるため、自分たちで学級会を運営していけるようにする。話し合い活動の計画を作成する役割を設け、十分指導しながら、少しずつ自主的にできるようにしていく。
			自己中心的な行動をしようとする傾向もあることから、自主性を尊重しつつ、学校生活を通して集団の規則を理解させるとともに、自他を尊重する意図や他者への思いやりの心などを育てる。	キャリア能力	友達と協力して活動する中でかわりを深める時期であり、自分の良いところを見つけ、友達の良いところを認め、自分の持ち味や役割が自覚できるようにする。
			思考と活動の分化が進み、自分の動きを意識したり、理解したりすることができ始めるため、運動を楽しく行う中で、基本的な動きを高めることができるよう育成する。	家庭教育	家事の手伝いや役割を担ったり、様々な体験や活動に挑戦させたりすることなどをおして、子どもを認め、励まし、自主性や規範意識の基礎となる力を育む。
小2 小1	自分のよさに気付く 児童自身が、学習活動やその他の活動の中で、自分の適性や興味・関心などに気付いたり、確かめたりしながら、自分のよさに気付くよう育む。		目に見えるような物事については、論理的に操作できるようにする時期であり、学習規律や学ぶ姿勢を育むとともに、具体物での学習や体験することを通して基礎的・基本的な知識や技能の習得を図る。	学級活動	自分の意見を主張することのみに集中することがあるため、児童の自主性を尊重しつつも、互いの意見をよく聞いて助け合いながら学級生活をよくするための話し合いができるようにする。
			自己中心性は色濃く残っているが、他人の立場を認めたり、理解したりする能力が発達してくるため、集団や社会のルールを守る態度など、善悪の判断や規範意識の基礎の形成を図る。	キャリア能力	小学校生活に適應する時期であり、自分の好きなこと、得意なこと、できることを増やし、様々な活動への興味・関心を高めながら、自分の好きなことを見つけて伸び伸びと活動できるようにする。
			思考と活動が未分化な時期にあり、「動くこと」と「考えること」が同時に進むので、運動遊びを楽しく行う中で、基本的な動きを広げることができるよう育成する。	家庭教育	社会のルールや家庭のルール、善悪の判断など、社会性を身に付けさせるとともに、基本的な生活習慣の定着を図り、子どものやる気を伸ばす。
就学前	自我の芽生え 幼児が、生活の中で自分の興味や関心に基づいた直接的・具体的な体験を通して、人格形成の基礎となる自我の芽生えを育む。		直接的な体験を通して、物事にかかわろうとする意欲や態度などが育まれる時期であり、身近な社会生活、生命や自然との関わりの中で、基本的な学びの姿勢を身に付け、思考力の芽生えを培う。	話し合い	自分の話を聞いてもらうことにより、自分も人の話もよく聞こうとする気持ちになる。人の話を聞き、自分の経験したことや考えたことを話中で、相互に伝え合う喜びを味わうことができるようにする。
			「良いこと」と「悪いこと」が存在することに気付かせたり、社会生活上のきまりを守ろうとする気持ちを育てたりするなど、道徳性の芽生えを培う。	キャリア能力	特定の大人との愛着関係を形成する時期であり、認められる喜びをもち、友達と仲良くし、きまりを守って、自分でできることは自分でできるようにする。
			神経系の発達が進み、運動を興奮させる能力を高め、おくことが重要な時期なので、体を動かす遊びを夢中になつて行う中で、基本的な動きを身につけることができるよう育成する。	家庭教育	子どもと一緒に話をすることで、コミュニケーション能力を育むとともに、遊びや生活の中で、ほめたり認めたりしながら、基本的な生活習慣を身に付けさせる。

## おわりに

「学ぶ力向上 滋賀プラン」では、夢と生きる力を育てる教育の基礎となるものが「学ぶ力」であり、平均正答率のようにテストで測れるものだけではなく、その根っこにある「学ぶ力」を高めてこそ真の学力向上に至るものと考え、総合的な学力向上をめざしました。

このプランは、2年スパンで4年間の中長期の計画ですが、また、併せて、目の前の子どもたちに対して、すぐに取り組む必要があることについてはできることから改善していくことも重要です。とりわけ、学校の授業が十分に理解できず、基礎的・基本的な知識・技能の習得や定着が十分ではない子どもたちへの支援は急務であり、早期に取り組む効果を上げる必要があります。

今後は、このプランをもとに子どもたち一人ひとりに夢と生きる力を育てるため、目の前の子どもたちの「学ぶ力」の向上に全力を尽くすことができるよう、各学校・園、家庭・地域など県全体で力をあわせて取り組むことが重要です。

学ぶ力向上 滋賀プラン 平成27年(2015年)3月

このプランについてのご意見やお問い合わせは、下記までお願いします。

滋賀県教育委員会事務局 学校教育課 学力向上担当

電話 077-528-4578

FAX 077-528-4953

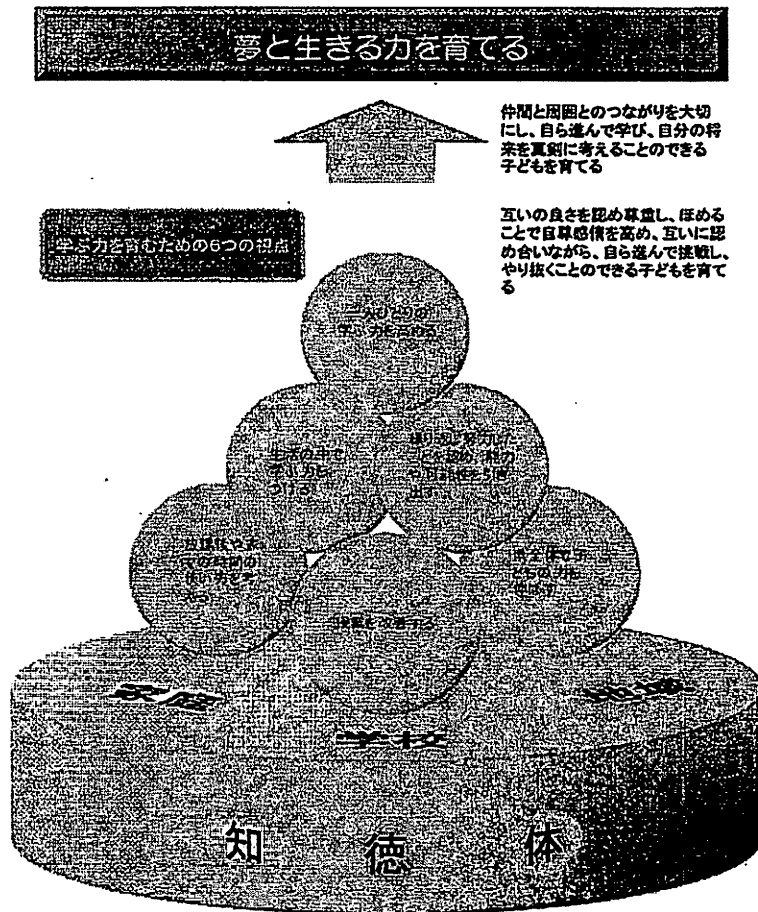
E-mail ma0505@pref.shiga.lg.jp

# 「学ぶ力」

「確かな学力」を育むための基盤となるものである。学ぶ力向上滋賀プランの中では、子どもが自ら進んで学ぶ姿を目指して、①一人ひとりの学ぶ力を高めること、②生活や体験の中で育てること、③繰り返し努力したことを認めること④学習習慣・生活習慣の改善、⑤授業改善、⑥学校・園、家庭、地域の県全体で取り組むことの6つの視点で取り組むことで「確かな学力」の基盤を育てていく。

また、体力や運動、仲間づくりや自尊感情等豊かな人間性の育成、食育、就学前からの学びの基礎づくり等も含めて取り組むことによって、子どもたちの「夢と生きる力」を育てることにつなげていく。

## 〈学ぶ力向上滋賀プラン〉



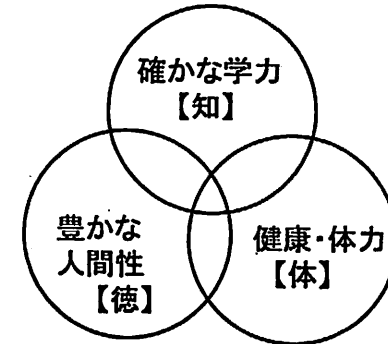
# 「学力」

「確かな学力」である

- 基礎的な知識・技能の習得
- 思考力、判断力、表現力
- 主体的に学習に取り組む態度

〈参考〉

「生きる力」とは、知(確かな学力)・徳(豊かな人間性)・体(健康・体力)のバランスのとれた力



【確かな学力】

- 基礎的な知識・技能の習得
- 思考力、判断力、表現力
- 主体的に学習に取り組む態度

【豊かな人間性】

- 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など

【健康・体力】

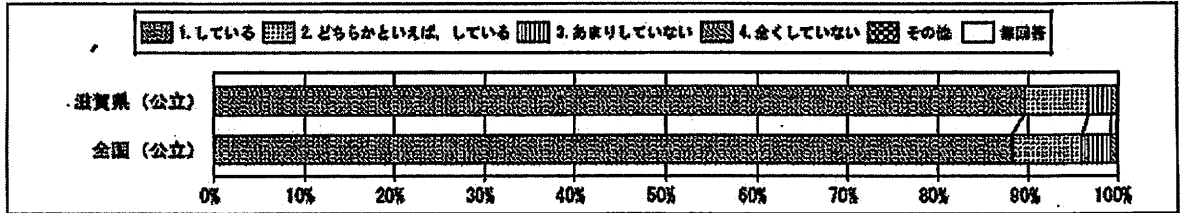
- たくましく生きるための健康や体力

(文部科学省資料等から作成)

平成26年度全国学力・学習状況調査  
クロス集計〔児童生徒質問紙－教科〕 (1) 朝食を毎日食べていますか

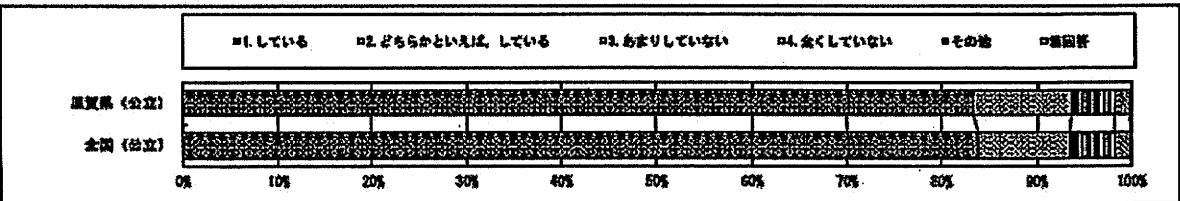
小学校

質問番号	質問事項									
(1)	朝食を毎日食べていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
滋賀県(公立)	89.5	7.2	2.6	0.6					0.0	0.0
全国(公立)	89.3	7.9	2.6	0.6					0.0	0.0



中学校

質問番号	質問事項									
(1)	朝食を毎日食べていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
滋賀県(公立)	83.3	10.4	4.6	1.6					0.0	0.1
全国(公立)	83.6	9.7	4.7	1.6					0.0	0.0



滋賀県一児童(公立)

<児童が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢	国語A	国語B	算数A	算数B
している	72.2	53.9	76.7	56.6
どちらかといえば、している	63.6	44.4	68.2	46.4
あまりしていない	57.3	40.1	61.6	39.5
全くしていない	55.4	39.5	59.2	37.1

滋賀県一生徒(公立)

<生徒が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢	国語A	国語B	数学A	数学B
している	79.3	50.6	68.9	58.8
どちらかといえば、している	73.6	42.9	59.7	48.2
あまりしていない	67.6	35.2	48.9	37.1
全くしていない	67.6	36.5	49.7	39

